

教育に関する事務の管理及び  
執行の状況の点検及び評価報告書  
(平成23年度実績)

平成24年8月

当別町教育委員会



## 目 次

第1章 点検及び評価の概要	
1 点検及び評価の趣旨	1
2 点検及び評価の対象	1
3 点検及び評価の内容	1
4 点検及び評価の公表	1
第2章 教育委員会の活動状況	
1 教育委員会会議の開催状況	3
（1）会議の開催状況	3
（2）会議の審議案件	3
2 教育委員会会議以外の主な活動状況	7
第3章 教育行政執行方針重点施策の点検及び評価	
1 学校教育の推進	
（1）確かな学力の向上について	
1 学力・学習状況等の調査に基づく実態把握、分析、改善方策を明らかにした学校改善プランの実施・改善	9
2 学ぶ意義や目的を理解させて学習意欲を高め、基礎学力を習得する学習の推進	10
3 言語活動を重視した学習、体験的・問題解決的・探究的な学習の充実	11
4 語彙を増やし読解力を高める読書活動の充実	12
5 家庭学習の習慣化や生活習慣の定着に向けた取組の充実	13
6 小学校の英語活動への対応として英語指導助手の指導時間数の拡充	14
7 巡回指導教員等加配教員、大学生、学校支援地域本部事業の地域人材や学校教育指導員などの活用による学校支援の充実	15
8 放課後・長期休業中を利用しての個に応じた指導の充実	16
9 幼稚園・保育所・小・中学校との連携充実	17
（2）豊かな心の育成と健康・体力の向上について	
1 中一ギャップ問題未然防止事業や小・中学校連携の取組、児童生徒の悩みに応えるための計画的・継続的な実態把握と指導	18
2 学校教育指導員と少年指導センター指導員との連携による教育相談の推進	19
3 保護者との協力による規律ある生活習慣の確立	20
4 自然体験活動、ボランティア活動、キャリア教育等、地域資源を活用し道徳の時間や教科等の関連を図った体験活動や進路指導の推進	21
5 豊かな感性を育てる読書活動や図書環境の整備	22

6	食育指導の充実と地産地消のための学校給食における地場産食材の活用	23
7	体力、運動能力向上の調査結果を踏まえた取組の推進	24
8	フッ化物洗口や子宮頸がんの学習を通じた健康に対する意識や態度の育成	25
(3)	開かれた学校の推進と教育活動の改善について	
1	学校評価や学校評議員、学校関係者評価の活用と学校だより、ホームページ等による情報提供を通じたマネジメントサイクルの組織的な取組	26
2	大学生や地域の人材、教材、基幹産業である農業を活かした教育活動の推進	27
3	特別支援教育における実践交流や特別支援学校など関係機関からの支援・連携体制の充実	28
(4)	教育環境・施設整備の充実について	
1	地域防犯連合会や関係機関・団体との情報共有や一体的活動などによる安全・安心の取組の推進	29
2	学校耐震診断結果を踏まえた当別小学校の体育館工事の実施	30
3	スクールバスの安全運行と地域町民の交通手段補完のための一般混乗試験運行の継続実施	31
2	社会教育の推進	
(1)	家庭や地域の教育力の向上について	
1	絵本を通しての「心のふれあい推進事業」や地域子育てサークルと連携した「地域子育て活性化事業」などの実施	32
2	「学校支援地域本部事業」における地域人材の発掘・活用による支援体制の充実	33
3	規律ある生活・基本的な生活習慣の確立のため、関係機関との連携強化による「早寝早起き朝ごはん」運動の取組	34
(2)	青少年教育の推進について	
1	少年指導センターにおける機動的な対応や、指導機関、関係機関との情報共有や連携強化による町内巡回指導の充実	35
2	インターネット上の被害及び加害防止のためのネット巡回の強化	36
3	子どもの自立性、協調性を育てる「通学合宿事業」の継続実施	37
4	ジュニアリーダーや子ども会リーダー育成事業及び多くの子どもが参加できる子ども会事業の工夫	38
5	「少年の意見発表会」の実施	39
(3)	成人教育の推進について	
1	町民が興味を持って参加できる「町民自主企画講座」や道医療大学連携セミナー「当別学講座」、「ことぶき大学」の開催実施	40

2	地域人材を活用した出前講座である「とうべつ知恵袋」の開催、人材バンク登録の拡大	41
(4)	文化・芸術活動の推進について	
1	社会教育施設における文化関係の展示場所の整備及び関係団体と連携した自主的・創造的な芸術文化活動の推進	42
2	「子どもの読書活動推進計画」に基づいた関係機関やサークルなどと連携した取組の推進	43
3	読書週間の設定や絵本の読み聞かせ事業の実施、図書情報の提供など、図書室蔵書貸出しの向上に向けた活動と学習交流センターの利用促進	44
4	歴史ボランティアの活動支援による歴史関係事業の推進	45
(5)	スポーツ活動の振興について	
1	町民のニーズ・興味に応じたスポーツの紹介事業の取組	46
2	子どもの体力・運動能力の向上及び多世代が多種目のスポーツに親しむことを目的とした「総合型地域スポーツクラブ」の運営支援	47
3	健康増進や運動習慣定着のための「フィットネスカレッジ」の実施	48
第4章	学識経験者による意見	49

<資料>

1	教育委員会委員名簿	57
2	平成23年度教育行政執行方針	58
3	平成23年度教育予算及び決算状況	63

## 第1章 点検及び評価の概要

### 1 点検及び評価の趣旨

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地方行法」という。）第27条により、「教育委員会の責任体制の明確化」の一つとして、「毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し議会に提出するとともに、公表しなければならない。」とされています。

このため、当別町教育委員会として、毎年、重点施策の取組の状況について点検及び評価を行い、成果や課題、今後の方向性等を明らかにすることにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていこうとするものです。

### 2 点検及び評価の対象

教育委員会の事業は年度単位で執行されているため、教育委員会の点検及び評価は次年度に入ってから行うこととしています。

本年度の点検及び評価は、「平成23年度教育行政執行方針」の重点施策に位置付けされた施策・事業等を対象事業として選定しました。

### 3 点検及び評価の内容

教育委員会会議の開催状況、審議案件など教育委員会の活動状況を明らかにするとともに、教育行政執行方針の重点施策に位置付された施策・事業等の点検・評価については、個別に取組状況を点検し、成果と課題を踏まえ今後に向けた方向性を明らかにしています。

また、教育委員会の活動状況や施策・事業等の点検及び評価の客観性を確保するとともに、今後の取組に反映させるため、教育に関し学識経験を有する方から点検及び評価に関する意見や助言をいただきました。

### 4 点検及び評価の公表

点検及び評価の結果をまとめた報告書を当別町議会に提出するとともに、町民に広く

公表します。

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 第2章 教育委員会の活動状況

### 1 教育委員会会議の開催状況

教育委員会の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律及び当別町教育委員会会議規則に基づき、教育長を含む5人の委員が主要な教育施策の策定、変更及び実施に関する事、教育委員会規則等の制定、教育に関する様々な課題について審議しています。

それぞれの会議においては、事務局から付議案件の提案説明や報告事項などについて説明が行われた後、委員の慎重な審議を経て、決定、了解、承認されてきたところです。

さらに、会議以外においては、現場の状況を把握したうえでの審議が行われるよう、学校や教育関係施設の視察、各種行事への参加を行っています。

今日の教育を取り巻く課題は、複雑・多様化しており、今後においても諸課題等に対応した施策の推進に向けて、引き続き十分な審議を行い、地域教育の更なる充実のため、町民の積極的な参画と協働の下、多様で質の高い教育行政を積極的に推進していく必要があります。

#### (1) 会議の開催状況

教育委員会会議については、当別町教育委員会会議規則第4条第1項の規定に基づき毎月定例会を開催し、また、同条第2項の規定に基づき必要に応じ臨時会を開催しています。

平成23年度については、下記のとおり合計15回の会議が開催されたところです。

また、会議以外に事務局との学習会も随時実施しています。

- ① 定例会 12回（毎月）
- ② 臨時会 3回（8月×1回、3月×2回）

#### (2) 会議の審議案件

教育委員会会議での審議事項については、当別町教育委員会事務委任規則第1条の規定に基づき、下記の71件について審議したところです。

また、同規則に規定されていない事務局報告事項103件について、それぞれ質疑応答を行っています。



- ① 当別町教育委員会事務委任規則第1条に基づく審議事項  
 ・議決案件 45件 ・協議案件 13件 ・報告案件 13件
- ② 事務局報告事項103件
- ③ 付議案件一覧

日 程	付 議 案 件
23. 4. 22	(議案) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成24年度から使用する中学校用教科用図書「共同採択」の承認について</li> <li>・ 教育財産の用途の廃止について</li> <li>・ 当別町立学校管理規則の一部を改正する規則制定について</li> <li>・ 当別町学校評議員の委嘱について</li> <li>・ 当別町就学指導委員会委員の解職について</li> <li>・ 当別町就学指導委員会委員の委嘱について</li> <li>・ 当別町特別支援教育推進サポート組織の委員の委嘱について</li> <li>・ 当別町社会教育委員の解職について</li> <li>・ 当別町社会教育委員の委嘱について</li> <li>・ 当別町学校給食センター運営委員会委員の解職について</li> <li>・ 当別町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について</li> </ul>
23. 5. 18	(議案) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当別町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する訓令制定について</li> <li>・ 当別町少年指導センター少年指導委員の委嘱について</li> <li>・ 当別町少年指導センター青少年健全育成協議委員の委嘱について</li> </ul>
23. 6. 15	(報告) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当別小学校屋内体育館改築工事(建築主体工事)請負契約について</li> <li>・ 平成22年度当別町学校給食費会計監査結果について</li> </ul> (議案) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当別町適応指導教室設置要綱の一部を改正する訓令制定について</li> </ul>

23. 7. 20	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当別町立学校管理規則の一部を改正する規則制定について</li> </ul> <p>(協議)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について</li> </ul>
23. 8. 17	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当別町立の小学校及び中学校の事務主幹の命課基準について</li> <li>教職員の懲戒処分について</li> </ul> <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校職員休職発令内申について</li> <li>補助教職員臨時的任用内申について</li> <li>教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について</li> </ul> <p>(協議)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度教育費(9月)補正予算について</li> <li>平成23年度全国学力・学習状況調査問題を活用した北海道における学力等調査の希望利用について</li> </ul>
23. 8. 26 (臨時会)	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度から使用する中学校用教科用図書の採択について</li> </ul>
23. 9. 28	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度教育費(9月)補正予算について</li> </ul> <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の懲戒処分の内申について</li> <li>当別町就学指導委員会委員の解職について</li> <li>当別町就学指導委員会委員の委嘱について</li> </ul>
23. 10. 25	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当別町立学校管理規則の一部を改正する規則制定について</li> </ul>
23. 11. 16	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の懲戒処分について</li> </ul> <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当別町文化財調査審議会委員の委嘱について</li> </ul> <p>(協議)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度教育費(12月)補正予算について</li> </ul>
23. 12. 21	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度教育費(12月)補正予算について</li> </ul> <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助教職員臨時的任用内申について</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当別町就学指導委員会委員の解職について</li> <li>・ 当別町就学指導委員会委員の委嘱について</li> <li>・ 当別町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について</li> </ul>
24. 1. 18	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当別町立学校管理規則の一部を改正する規則制定について</li> <li>・ 教育財産（栄町教職員住宅）の処分について</li> <li>・ 当別町教職員住宅管理規則の一部を改正する規則制定について</li> <li>・ 平成23年度教育功績表彰並びに青少年善行表彰の被表彰者の選考について</li> </ul> <p>(協議)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成24年度教育行政執行方針について</li> <li>・ 平成23年度全国学力・学習状況調査問題を活用した北海道における学力等調査の公表に関する取扱について</li> <li>・ 平成24年度全国学力・学習状況調査の希望利用について</li> <li>・ 平成23年度教育費（1月）補正予算について</li> </ul>
24. 2. 22	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成24年度教育行政執行方針について</li> <li>・ 平成23年度教育功績表彰の被表彰者の追加選考及び決定について</li> </ul> <p>(協議)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成23年度教育費（3月）補正予算について</li> <li>・ 平成24年度教育費当初予算について</li> <li>・ 当別町コミュニティーセンター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について</li> <li>・ 当別町総合体育館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について</li> <li>・ 当別町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について</li> </ul>
24. 3. 14 (臨時会)	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教職員の人事異動について</li> </ul>
24. 3. 21	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成23年度教育費（3月）補正予算について</li> <li>・ 平成24年度教育費当初予算について</li> <li>・ 当別町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について</li> <li>・ 当別町コミュニティーセンター設置及び管理に関する条例の一部</li> </ul>

	を改正する条例制定について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当別町総合体育館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について</li> <li>・ 感謝状の授与について</li> </ul> (議案) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校職員採用発令内申について</li> <li>・ 当別町教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則制定について</li> <li>・ 当別町体育指導委員に関する規則の一部を改正する規則制定について</li> <li>・ 当別町体育指導委員の会議の運営に関する規程の一部を改正する訓令制定について</li> <li>・ 当別町小中学生スポーツ大会参加費助成要綱の一部を改正する訓令制定について</li> <li>・ 当別町学校支援地域本部運営委員会地域コーディネーターの委嘱について</li> <li>・ 当別町学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則制定について</li> <li>・ 教職員の人事異動について</li> </ul>
24. 3. 27 (臨時会)	(議案) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育委員会事務局職員の人事異動について</li> </ul>

※ 以下の選挙及び委員の指定については、平成23年9月28日に行っています。

- ・ 当別町教育委員会委員長の選挙について
- ・ 当別町教育委員会委員長の職務を代理する委員の指定について

## 2 教育委員会会議以外の主な活動状況

### ① 会議等

(※) は教育委員長が出席した会議（北海道町村教育委員会連合会会長職を含む）

- ・ 北海道町村教育委員会連合会役員会 (※)
- ・ 石狩管内教育委員会協議会三役会議、総会 (※)
- ・ 全国市町村教育委員会連合会理事会 (※)
- ・ 全国市町村教育委員会連合会副会長会議 (※)
- ・ 北海道町村教育委員会連合会総会 (※)
- ・ 北海道町村教育委員会連合会文教施策要望 (※)

- ・北海道市町村教育委員研修会運営会議（※）
  - ・石狩管内教育委員会協議会教育懇談会（※）
  - ・北海道市町村教育委員研修会
  - ・石狩管内教育委員会委員研修会及び交流会
  - ・市町村教育委員会新任教育委員研修会
  - ・校長会主催「教育委員と語る会」
  - ・社会教育委員意見交流会
- ② 学校視察訪問等
- ・当別小学校、当別中学校、弁華別中学校視察  
（耐震改修工事 授業見学 給食）
  - ・白樺コミュニティーセンター視察  
（施設利用状況、文化団体活動状況見学、適応指導教室見学）
- ③ 行事参加状況
- （※）は教育委員長が参加した行事（北海道町村教育委員会連合会会長職を含む）
- ・文学碑「石狩川」献花式（※）
  - ・北海道公民館協会創立 60 周年記念事業（※）
  - ・当別小学校体育館完成を祝う会（※）
  - ・校長・教頭合同研修会
  - ・小・中学校入学式、卒業式
  - ・当別町教育功績・青少年善行表彰式
  - ・当別町表彰式
  - ・当別町成人式
  - ・当別町少年の意見発表会
- ④ 当別町議会出席（※）

### 第3章 教育行政執行方針重点施策の点検及び評価

「平成23年度教育行政執行方針」に掲げられた学校教育・社会教育の重点施策に基づき、施策・事業の内容と成果について点検・評価を実施しました。

なお、重点施策の内容については、＜資料＞2「平成23年度教育行政執行方針」を参照下さい。

<b>点検・評価項目</b>
1 学校教育の推進 (1) 確かな学力の向上について 1 学力・学習状況等の調査に基づく実態把握、分析、改善方策を明らかにした学校改善プランの実施・改善
<b>平成23年度の取組状況</b>
平成22年の調査結果を踏まえ、各学校において「学校改善プラン」を作成し、朝ドリルや朝読書など、学力向上に向けた取組を実施した。 平成23年度は東日本大震災の影響を受け全国学力・学習状況調査の実施が9月に変更になったが、当別町においては引き続き全小・中学校にて希望参加した。その結果等を平成24年1月に「平成23年度全国学力・学習状況調査報告書～当別町における結果分析～」としてまとめ、各小・中学校へ配布するとともに分析概要をホームページ等で公表した。
<b>成果・課題等</b>
学力学習調査の結果分析により、得意・不得意分野など、目に見える学力を把握し、それに基づく改善方策を明確にした学校改善プランを工夫するなど、具体的な対策に取り組む環境づくりができた。 「平成23年度全国学力・学習状況調査報告書～当別町における結果分析～」では、小学生の平均正答率は全道平均とほぼ同程度としつつも、やや下回っている状況が見られた。中学生は全道平均とほぼ同程度とし、やや上回っている状況が見られた。 基礎的・基本的な知識・技能に関する問題については、おおよそ理解しているものの、活用する問題については、活用力を一層高めていく必要がある。
<b>今後の方向性</b>
当別町の結果分析により、各学校の学校改善プランの改善を行い、学校としての課題や具体的な取組を明らかにし、家庭や地域との連携を図りながら、学びの習慣の定着や基礎的・基本的な知識・技能の習得及びそれを活用する思考力、判断力、表現力等の向上を一層図っていく。
<b>担当課・係</b>
管理課 学校教育係

<b>点検・評価項目</b>
<p>1 学校教育の推進</p> <p>(1) 確かな学力の向上について</p> <p>2 学ぶ意義や目的を理解させて学習意欲を高め、基礎学力を習得する学習の推進</p>
<b>平成23年度の取組状況</b>
<p>北海道全体の基礎学力の向上を目的とした、簡単なドリル形式のチャレンジテストを希望参加し春と秋に実施した。また、朝読書や朝ドリルも実施した。</p> <p>加配教員や退職教員活用事業による習熟度別学習等や地域人材・大学生を活用した授業・放課後・長期休業中の学習支援を実施した。</p>
<b>成果・課題等</b>
<p>チャレンジテストは、年2回実施したことにより、学力の習得状況を検証することができた。</p> <p>また、加配教員や退職教員活用事業による習熟度別学習等や地域人材・大学生を活用した授業・放課後・長期休業中の学習支援により、個々の学力に応じた指導を行うことができた。</p>
<b>今後の方向性</b>
<p>引き続き、チャレンジテスト・朝読書・朝ドリル等の取組を継続実施する。</p> <p>また、加配教員や退職教員等外部人材活用事業による習熟度別学習等や学校支援地域本部事業等の地域人材、大学生を活用した学習支援を行い、個々の学力に応じた指導の充実を一層図る。</p>
<b>担当課・係</b>
<p>管理課 学校教育係</p>

<b>点検・評価項目</b>
1 学校教育の推進 (1) 確かな学力の向上について 3 言語活動を重視した学習、体験的・問題解決的・探究的な学習の充実
<b>平成23年度の取組状況</b>
<p>新学習指導要領において、各教科等で言語活動を重視することとなったため、各学校においては、研究主題や内容に位置付けるなど、児童生徒が「考えを整理し自分の言葉で伝える」学習等を充実する取組を行った。</p> <p>また、地域の素材等を活用した体験的・問題解決的・探究的な学習を進めた。</p> <p>さらに、各学校に文部科学省作成資料「言語活動の充実に関する指導事例集【小学校版・中学校版】」の資料提供を行うとともに、学校教育指導員が定例校長会や学校訪問等で本資料の活用方法について指導助言を行った。</p>
<b>成果・課題等</b>
<p>授業中に考え、話し合い、表現するなどの活動を多く盛り込むなど、言語活動を重視した授業を実践する教職員の意識化が図られた。その結果、児童に「考えたことを伝える楽しさ」や「伝え合おうとする意欲」が見られるようになった。</p> <p>自分の意見や解決方法を話すことはできるが、相手への質問等を話す力については、まだ十分達成できていない。</p> <p>また、体験的・問題解決的・探究的な学習も一層工夫し、全教科において思考力・判断力・表現力や基礎学力を活用する能力を高める必要がある。</p>
<b>今後の方向性</b>
<p>各学校における言語活動や体験的・問題解決的・探究的な学習を通して、各教科や児童生徒の発達段階に応じて育成する目標を明確にし、今後も継続して言語活動を重視した学習等、積極的に授業づくりに取り組む。</p> <p>また、学校教育指導員による指導助言も継続して行う。</p>
<b>担当課・係</b>
管理課 学校教育係



<b>点検・評価項目</b>
1 学校教育の推進 (1) 確かな学力の向上について 4 語彙を増やし読解力を高める読書活動の充実
<b>平成23年度の実施状況</b>
全ての学校において始業前の10分～15分程度を朝読書の時間とし、児童生徒の読書意欲を高める活動の充実を図った。 年1回の読書月間の設定、長期休業前の一斉貸し出し等の取組を行った。
<b>成果・課題等</b>
朝読書の活動により、文字に興味を持ったり、読解力や表現力が身に付いたりした。 さらに、落ち着いた気持ちで一日がスタートできることにより、授業への集中力が高まった。
<b>今後の方向性</b>
新学習指導要領において、言語活動の充実が求められていることから、今後も各学校において、多くの言葉や文章に触れることのできる読書活動の一層の推進を図るため、継続して朝読書等の活動を行うとともに、読書しやすい環境整備を図る。
<b>担当課・係</b>
管理課 学校教育係

<b>点検・評価項目</b>
1 学校教育の推進 (1) 確かな学力の向上について 5 家庭学習の習慣化や生活習慣の定着に向けた取組の充実
<b>平成23年度の取組状況</b>
<p>平成23年度においては、基本的な生活習慣や社会的マナーなどを身に付けさせ自立心を育てるため、「当別町家庭教育の手引き」を作成し各家庭に配布した。</p> <p>また、各学校においては、家庭学習の習慣化を図るため「家庭学習の手引き」を、各家庭に配布し、学校と家庭が一体となった取組を行った。</p> <p>児童会・生徒会を中核とした「あいさつ運動」を取組んだ。また、日常の学校生活の様子を観察、学校生活アンケートなどで児童生徒の生活状況を把握し、登下校指導・集会での指導のほか、休み時間などでも規律ある生活習慣への指導を行い、学校便りなどで家庭への協力呼びかけを図った。</p>
<b>成果・課題等</b>
<p>家庭学習の習慣化は徐々に図られてきているが、家庭学習の時間や内容などが課題である。</p> <p>基本的な生活習慣の確立では、家庭での取組が最も重要であり、家庭での決まりやルールづくりなど、家庭へ更なる啓発が必要である。</p> <p>また、家庭・学校・地域の取組が統一したものとなるよう、一層の連携が必要である。</p>
<b>今後の方向性</b>
<p>「当別町家庭教育の手引き」などを活用し、安定した生活習慣の定着を図るため、学校と家庭との連携強化に努める。</p> <p>また、「家庭学習の手引き」に基づいて、家庭での学習時間の確保・増加に努めるほか、予習、復習などの学習内容の充実を一層図る。</p>
<b>担当課・係</b>
管理課 学校教育係

<b>点検・評価項目</b>
1 学校教育の推進 (1) 確かな学力の向上について 6 小学校の英語活動への対応として英語指導助手の指導時間数の拡充
<b>平成23年度の取組状況</b>
<p>小学校の英語活動については、平成23年度から全面実施となった新学習指導要領において5・6年生の外国語活動が必修となったことから、総合的な学習の時間を中心にカナダ出身の英語指導助手の指導時間数を1学級につき年間15時間とした。</p> <p>1年生から4年生においても、総合的な学習の時間で外国人による国際理解に関する学習を行った。</p> <p>また、中学校については、前年度同様、1学級につき年間9時間とした。</p>
<b>成果・課題等</b>
<p>小学校の英語活動については、日常の英語を聞くことや簡単な英会話を通じ、外国の文化に慣れ親しみ、国際感覚やコミュニケーション能力を養うことができた。</p> <p>平成23年度から全面実施となった新学習指導要領において、小学校5・6年生の外国語活動の年間時数が1学級35時間となったことから、今後の英語指導助手の指導時数について、各小学校と継続協議し設定していく必要がある。</p>
<b>今後の方向性</b>
<p>小学校については、平成24年度の派遣時間を3時間増やして18時間に拡充する。</p> <p>また、中学校については、現行の9時間の派遣とする。</p>
<b>担当課・係</b>
管理課 学校教育係

<b>点検・評価項目</b>
<p>1 学校教育の推進</p> <p>(1) 確かな学力の向上について</p> <p>7 巡回指導教員等加配教員、大学生、学校支援地域本部事業の地域人材や学校教育指導員などの活用による学校支援の充実</p>
<b>平成23年度の取組状況</b>
<p>平成23年度より、各小学校へ巡回し若手教員等とチーム・ティーチングや授業づくりの指導等のため当別小学校に巡回指導教員1名を配置した。</p> <p>大学生の協力によるスクールアシスタントティーチャー（SAT）事業を当別小学校・西当別小学校・本年度から当別中学校にも配置した。</p> <p>各学校では、学校支援地域本部と連携し地域の人材を活用し、体育・音楽などの授業を行った。</p> <p>学校教育指導員による、各学校の学校経営、学校運営及び学習指導、生徒指導などの助言、相談、支援を行った。</p>
<b>成果・課題等</b>
<p>巡回指導教員作成の「巡回指導便り」で効果的な実践や指導などを教職員に紹介した。</p> <p>今年度も大学生や学校支援地域本部と連携した学校教育活動を充実させることができた。</p> <p>学校教育指導員などの学校支援により校内研究の研究内容や板書・発問等の指導方法などについての助言を行い、教師の指導力向上に資することができた。</p>
<b>今後の方向性</b>
<p>児童生徒の学力向上の取組や学校教育活動の充実を図るために、大学生および学校支援地域本部事業を活用し実施する。</p> <p>また、教員の指導力向上は重要であり、引き続き、巡回指導教員等の加配教員を配置するとともに、学校教育指導員の活用を図る。</p>
<b>担当課・係</b>
<p>管理課 学校教育係</p>

<b>点検・評価項目</b>
1 学校教育の推進 (1) 確かな学力の向上について 8 放課後・長期休業中を利用するの個に応じた指導の充実
<b>平成23年度の取組状況</b>
放課後を利用した学習支援は、弁華別中学校において実施した。 また、長期休業中を利用した補足的な学習支援は、西当別小学校を除いた小中学校において実施した。 当別小学校では、夏季休業中の補足的な学習支援に「当別町学校支援地域本部事業」及び「学生ボランティア学習サポート事業（北海道教育委員会事業）」を活用し、2日間で述べ14名の学校支援ボランティア及び学生ボランティアを講師として派遣し、参加児童に対する学習支援を行った。
<b>成果・課題等</b>
当別小学校においては、各事業を活用したことで、低学年、高学年の各教室に複数の講師を配置することができ、参加児童の困り感を見逃すことなく、きめ細かな指導をすることができた。また、長期休業中の学習習慣の定着に向けた指導にもつながった。 学生ボランティア学習サポート事業は平成23年度新規事業であったため、当別小学校のみでの実施となったが、今後、標記事業を活用した学習支援を複数の学校で実施する場合、講師の確保が課題となる。
<b>今後の方向性</b>
長期休業中を利用した補足的な学習支援は学力の向上や学習習慣の定着に効果があるため、今後も継続して実施する。 講師確保のため、学生ボランティア学習サポート事業や当別町学校支援地域本部事業等の活用を推奨し、より充実した学習支援を行う。
<b>担当課・係</b>
管理課 学校教育係

<b>点検・評価項目</b>
1 学校教育の推進 (1) 確かな学力の向上について 9 幼稚園・保育所・小・中学校との連携充実
<b>平成23年度の取組状況</b>
<p>小学校教職員（管理職、教務、特別支援教育コーディネーター等）が幼稚園・保育所を訪問し、活動参観及び情報交流を7月頃行った。</p> <p>幼稚園、保育所と小学校による就学に関する情報交流を10月と2月に行い、保護者及び関係機関との連携による教育相談を実施した。</p> <p>各小・中学校間では出前授業や学習参観、情報交流等を行った。</p> <p>特別支援教育コーディネーター連絡会議に幼稚園教諭や適応指導教室指導員の参加を依頼し、情報交流を8月と3月に実施した。</p>
<b>成果・課題等</b>
<p>幼稚園、小学校、中学校の教諭が園児児童生徒の様子やそれぞれの指導内容を把握することにより、校種間の進級・進学や学習内容をスムーズにつなげることができた。</p> <p>また、小・中学校の連携を進めることにより9年間を見通した指導を行うことができた。</p> <p>平成23年度から民営化になった幼稚園では園児の就学に対して、必要に応じて小学校と情報交流及び保護者などと教育相談を行ったことにより保護者の不安を和らげることができた。</p>
<b>今後の方向性</b>
<p>幼稚園、保育所、小学校、中学校が連携し、幼児児童生徒の発達の特長や学校種の教育内容について相互理解を深めることで、いわゆる「小1プロブレム」や「中1ギャップ」を未然に防ぎ、安定した学校生活につなげるとともに、9年間を見通した系統的な指導の充実を図るために、今後も校種間の引継ぎや連携ができるよう、教育委員会として支援していく。</p>
<b>担当課・係</b>
管理課 学校教育係

<b>点検・評価項目</b>
<p>1 学校教育の推進</p> <p>(2) 豊かな心の育成と健康・体力の向上について</p> <p>1 中一ギャップ問題未然防止事業や小・中学校連携の取組、児童生徒の悩みに応えるための計画的・継続的な実態把握と指導</p>
<b>平成23年度の取組状況</b>
<p>当別小学校と当別中学校は、中1ギャップ問題未然防止事業（北海道教育委員会委託事業）を活用し、児童生徒や教職員の交流、中学校教諭による小学校6年生への体育指導などの出前授業など各種取組を実施した。</p> <p>また、西当別小学校と西当別中学校では9年間を見通した小中連携教育の研究や小・中学校合同のクリーン作戦として環境整備活動や小学生の部活動見学、弁華別小学校と弁華別中学校では、合同で運動会などの各種行事の開催や校区内環境整備活動などを行った。</p> <p>各小・中学校においては、児童生徒の日々の様子の実態を把握し指導を行った。</p>
<b>成果・課題等</b>
<p>各小・中学校とも、各種の連携事業や取組、指導の充実が図られ、児童生徒に基本的な生活習慣や規範意識が身に付きはじめており、落ち着いた状況が見られる。しかし、各小・中学校とも小・中同一校区という利点にありながら問題を抱えた児童生徒が一部在籍するなど、課題は残っている。このような状況から、児童生徒の学習状況や生活状況を的確に把握し、小・中学校間や家庭との連携により、9年間を見通して主体的に学ぶ態度や基本的な生活習慣、また、よりよい人間関係を築く力を育てる指導を工夫する必要がある。</p> <p>また、児童生徒間及び教員間の交流や個々の児童生徒における友人関係、家庭環境、健康状態など、引継ぎによる情報交換が必要と考えられる。</p>
<b>今後の方向性</b>
<p>今後も引き続き当別小学校と当別中学校において本委託事業を受託し、小・中学校相互の連携による取組を実施する。他の小・中学校においても、児童生徒の悩みに応じた計画的・継続的な実態把握をするとともに小・中連携シート等を導入するなど、小学校第6学年と中学校新第1学年の担当教諭が、学級編制や友人関係、健康状況などについて情報交流を行う。</p> <p>今後も、各小・中学校において、効果的な小・中学校の連携の在り方について研究・実践する。</p>
<b>担当課・係</b>
<p>管理課 学校教育係</p>

<b>点検・評価項目</b>
<p>1 学校教育の推進</p> <p>(2) 豊かな心の育成と健康・体力の向上について</p> <p>2 学校教育指導員と少年指導センター指導員との連携による教育相談の推進</p>
<b>平成23年度の取組状況</b>
<p>いじめ、不登校や問題行動防止のため、学校教育指導員1名と少年指導センター指導員2名及び関係機関とが連携し教育相談や生徒指導を行った。</p> <p>また、町内校長会・教頭会で各校の取組状況を交流したり、児童生徒指導連絡協議会でもいじめや不登校、問題行動等の情報交流を行った。</p> <p>学校で年2回いじめの調査を実施し、児童生徒の実態を把握し、その結果を踏まえて当該児童生徒の指導を行った。</p> <p>学校における教育相談体制の充実のため、当別中学校・西当別中学校にスクールカウンセラーを1名配置した。</p> <p>不登校児童生徒の対応として、当別町適応指導教室に指導員を2名配置し学校教育指導員と学校及び保護者と連携し学校復帰を目指した。</p>
<b>成果・課題等</b>
<p>学校と少年指導センター指導員との連携を強め、即時の情報交流や教育委員会の指導、支援により、学校の生徒指導の改善が図られた。</p> <p>しかし、いじめ・不登校等の問題を抱えた児童生徒が依然として存在しているため、スクールカウンセラーや学校教育指導員、少年指導センターや適応指導教室等の関係機関・団体や関係者と連携して情報交流を進めるなど、校内外の報・連・相を密にしたスピーディーな対応が重要である。</p>
<b>今後の方向性</b>
<p>引き続き、学校でのいじめ調査などを行い児童生徒の実態を把握し、指導の充実を図る。</p> <p>また、不登校の状況を把握し、当別町適応指導教室をはじめ関係機関と連携し、学校復帰を目指す教育相談等を行い支援する。</p> <p>児童生徒の指導にあたっては、学校の教職員全体の共通理解に基づく一致した生徒指導体制の確立や教職員の指導力向上を図り、どんな事情があっても行過ぎた指導を行うなど過度に心身の苦痛を与えることのないよう教職員への指導徹底に努めていく。</p>
<b>担当課・係</b>
<p>管理課 学校教育係</p>



<b>点検・評価項目</b>
1 学校教育の推進 (2) 豊かな心の育成と健康・体力の向上について 3 保護者との協力による規律ある生活習慣の確立
<b>平成23年度の取組状況</b>
<p>平成23年度においては「当別町家庭教育の手引き」を作成し、各学校で活用するとともに、各家庭に配布し、学校と家庭が一体となった取組を行った。</p> <p>また、日常の学校生活の様子を観察や学校生活アンケートなどで児童生徒の生活実態を把握し、登下校指導・集会での指導のほか、休み時間などでも規律ある生活習慣への指導を行い、学校便りなどで家庭へ協力の呼びかけを図った。</p> <p>ネット社会の普及に伴い、インターネット上のトラブルの未然防止、早期発見、早期対応を図るため、ネットパトロールを実施した。</p>
<b>成果・課題等</b>
<p>各学校の熱心な取組により、あいさつや早寝早起き朝ごはんなどの規律ある生活習慣が身に付いてきた。</p> <p>基本的な生活習慣の確立では、家庭での取組が最も重要であり、「早寝早起き朝ごはん」運動を中心に、家庭でのきまりやルールづくりなど、家庭へさらなる啓発が必要である。</p> <p>また、TVやDVD、TVゲーム等の視聴、使用時間が全国平均と比べても長いことから改善を図る必要がある。</p> <p>インターネット上のトラブル未然防止については、家庭・学校・地域の取組が統一したものとなるよう、一層の連携が必要である。</p>
<b>今後の方向性</b>
<p>引き続き「当別町家庭教育の手引き」に基づいて、「早寝早起き朝ごはん」運動をはじめとした、規律ある生活習慣の確立に向けて、学校と家庭が連携強化に努める。</p> <p>また、TVやDVD、TVゲーム等の視聴・使用時間の改善に努める。</p> <p>ネット社会の普及と合わせ、情報モラルの指導を行うとともに、ネットパトロールの実施、さらには携帯電話のフィルタリングについて指導・啓発を行う。</p>
<b>担当課・係</b>
管理課 学校教育係

<b>点検・評価項目</b>
<p>1 学校教育の推進</p> <p>(2) 豊かな心の育成と健康・体力の向上について</p> <p>4 自然体験活動、ボランティア活動、キャリア教育等、地域資源を活用し道徳の時間や教科等の関連を図った体験活動や進路指導の推進</p>
<b>平成23年度の取組状況</b>
<p>各小・中学校で地域清掃活動、リングプル、ペットボトルキャップの回収、福祉施設訪問など、ボランティア活動の体験を行った。</p> <p>各小・中学校においては、地域の協力やJA青年部と連携して農業体験として大豆・ジャガイモの等の栽培を行った。</p> <p>中学校では、商工会と連携して職場体験学習を実施し、当別中学校では28事業所で3日間（第2学年125名）、西当別中学校では24事業所で2日間（第2学年88名）、弁華別中学校では6事業所で1日間（第2学年6名）の職場体験を行った。</p>
<b>成果・課題等</b>
<p>各体験活動等でさまざまな人との交流を通し、いろいろな考えの人や立場の違いなどを学び、モラルを身に付け、人間性・社会性を広げた。</p> <p>生徒がさまざまな職場体験を通して、働くことの喜び・貢献することの意義・それに伴う責任の大きさ・厳しさなどを実際に体験できたことは、自分自身を見直し、今後の自分の在り方や生き方を考える上で貴重な体験となった。</p> <p>商工会等との連携を密にし、職場体験に取り組むことが大切である。</p>
<b>今後の方向性</b>
<p>引き続き、豊かな心の育成のためボランティア活動等を今後も教育課程の中に位置付けていくことが大切である。</p> <p>平成24年度からの中学校学習指導要領の全面施行に伴い、総合的な学習の時間や特別活動の年間指導計画の見直しをはじめとし、体験活動・交流活動などの計画を位置付けた教育課程を編成していく。</p> <p>職場体験は、今後も商工会と連携を取り、事業所の負担を考慮しながら生徒の受け入れについて依頼を行う。</p>
<b>担当課・係</b>
<p>管理課 学校教育係</p>

<b>点検・評価項目</b>
1 学校教育の推進 (2) 豊かな心の育成と健康・体力の向上について 5 豊かな感性を育てる読書活動や図書環境の整備
<b>平成23年度の取組状況</b>
各小・中学校において朝読書活動・ボランティアによる読み聞かせや巡回図書の活用を継続して取り組んでいる。 平成23年度は、子どもの読書活動の推進または学校図書館の充実のため、国の事業（住民生活に光をそそぐ交付金）を活用し、図書購入予算の増額を図り、児童生徒が興味を引く新刊など購入し蔵書を増やすとともに、各小・学校に書架を購入し意欲的に読書活動できるよう図書館の環境整備を行った。 購入冊数 小学校1, 965冊（蔵書率115.2%） 中学校2, 199冊（蔵書率87.5%）
<b>成果・課題等</b>
小学校では全校一斉の始業前の朝読書活動を実施し、落ち着いた環境の中で授業が進められるようになった。 また、中学校でも朝読書の取組を行い、着実に成果を上げている。 ボランティアによる読み聞かせ、昼休みの図書館活用、長期貸し出しにより、読解力、感受性、表現力を高めることができた。 また、新刊を購入したことにより、昨年度より貸出冊数が増えた。
<b>今後の方向性</b>
引き続き、児童生徒が興味を引く新刊など購入し蔵書を増やすとともに、各学校の図書館の展示など工夫して意欲的に読書活動できるよう整備を図る。
<b>担当課・係</b>
管理課 学校教育係

<b>点検・評価項目</b>
<p>1 学校教育の推進</p> <p>(2) 豊かな心の育成と健康・体力の向上について</p> <p>6 食育指導の充実と地産地消のための学校給食における地場産食材の活用</p>
<b>平成23年度の取組状況</b>
<p>各小・中学校において、栄養教諭による食育指導を昨年同様に各学年で年1～2回実施した。</p> <p>小学校では、食育だよりの発行や掲示物、給食ワンポイントクイズなどによる食育啓発を行った。</p> <p>中学校では、「食事バランスガイドを使ってみよう」、「受験と栄養」などをテーマとし、生活に活かせるような内容の食育を行った。</p> <p>児童・生徒がクリスマスケーキを選択できる「セレクト給食」や栄養バランスを考え、エネルギー計算できる「バイキング給食」を取入れた。</p> <p>各小・中学校では、JA北石狩や地元農家の方の協力により田植えから脱穀までの稲作体験を通したおにぎりづくり、収穫祭による調理、校庭の桜を見ながらのお花見給食、合格祈願の餅つき集会などの食育活動を行った。</p> <p>平成23年度は、期限付栄養教諭が1名配置され2名体制で食育指導を行った。</p> <p>地場産食材を使用した安全・安心かつ新鮮な給食を提供した。</p> <p>地場産食材の使用率：米 100% 野菜 24% 豚肉 33%</p>
<b>成果・課題等</b>
<p>地場産の野菜使用については、収穫時期や天候の影響を受け、生産量や価格に影響が出るが、JA北石狩からの安定した提供により、昨年度と比べると6%増加した。</p> <p>原発事故による放射能の影響から、端境期に使用する食材の価格高騰による購入や安全・安心な食材の選定が必要である。</p>
<b>今後の方向性</b>
<p>正しい食事の在り方や望ましい食習慣を身に付け、食事を通して自らの健康管理ができるように食育に関する指導を行う。</p> <p>給食センターの機能及び現状の食育指導を維持するには、引き続き栄養教諭の定数加配の手続きを進めるとともに、町としては栄養士の配置を検討する。</p> <p>JA北石狩や各関係者と連携を図り、さらに旬の地場産食材の使用拡充に努める。</p> <p>学校給食の放射能汚染対策としては、国などから発信された放射性物質検査の結果情報などを基に安心・安全な食材の選定にあたる。</p>
<b>担当課・係</b>
学校給食センター 給食係

<b>点検・評価項目</b>
1 学校教育の推進 (2) 豊かな心の育成と健康・体力の向上について 7 体力、運動能力向上の調査結果を踏まえた取組の推進
<b>平成23年度の実績</b>
各小・中学校において、小学校5年生と中学校2年生を対象に「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の実技に関する調査を実施した。 その結果等を「平成23年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の調査票を活用した北海道における調査」における当別町の調査結果としてまとめ、各小・中学校へ配布した。 各学校では、結果を踏まえ、各自のトレーニングメニューを作成して自主体力づくりを行った。 また、体育の授業の最初に5分走や縄跳び・ストレッチ・柔軟体操などを準備体操として行った。
<b>成果・課題等</b>
体力・運動能力、運動習慣等の調査項目について、全道平均値と比較して、個々及び各学校がどの位置にいるか明確に把握することができた。 学校の取組により一部種目では改善が見られたが、依然として多くの項目で低い状態にあることから、児童生徒の体力づくりの取組を継続していくことが必要である。
<b>今後の方向性</b>
全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を経年的に比較し、児童生徒の体力・運動能力の向上の様子や実態の把握に努め、引き続き継続的に行うトレーニングの充実や実施、持久力、柔軟性を養う体育の授業などの取組を一層充実させていく。
<b>担当課・係</b>
管理課 学校教育係

<b>点検・評価項目</b>
<p>1 学校教育の推進</p> <p>(2) 豊かな心の育成と健康・体力の向上について</p> <p>8 フッ化物洗口や子宮頸がんの学習を通じた健康に対する意識や態度の育成</p>
<b>平成23年度の取組状況</b>
<p>歯の健康を目的としたフッ化物洗口は、2年次に入り、対象学年を小学校1年生及び2年生へと拡大し、学校歯科医の協力を得て週1回実施した。</p> <p>また、中学生を対象とした子宮頸がんを含むがん予防の学習については、年度当初に各中学校PTAへの説明会の実施と子宮頸がんワクチン費用助成に係るリーフレット及びチラシを配布し、各中学校において町保健師を講師とした出前講座を実施した。</p>
<b>成果・課題等</b>
<p>フッ化物洗口については、対象児童へのむし歯予防と児童・保護者・教職員に対し歯の健康に対する意識付けを行うことができた。</p> <p>中学生を対象とした子宮頸がんを含むがん予防の学習については、がんは身近なものであり、がん予防のための生活習慣は大切なことだという意識付けを行うことができた。</p>
<b>今後の方向性</b>
<p>フッ化物洗口については、毎年対象学年を広げていき、平成27年度には小学校全学年で実施するよう進めていくとともに、歯科検診のデータを参考にフッ化物洗口の実施効果について検証していく。</p> <p>中学生を対象とした子宮頸がんを含むがん予防の学習については、今後も町福祉部と連携し、出前講座の実施とリーフレット等の配布を継続し、健康に対する意識付けを普及していく。</p>
<b>担当課・係</b>
<p>管理課 学校教育係</p>

<b>点検・評価項目</b>
<p>1 学校教育の推進</p> <p>(3) 開かれた学校の推進と教育活動の改善について</p> <p>1 学校評価や学校評議員、学校関係者評価の活用と学校だより、ホームページ等による情報提供を通じたマネジメントサイクルの組織的な取組</p>
<b>平成23年度の取組状況</b>
<p>学校改善に向けた学校の教育活動、学校経営の状況についての学校関係者評価は、平成20年度より保護者、地域の方々及び他校の学校職員などによる学校関係者評価委員に自己評価の結果を説明し、関係者評価を受け、学校だよりで公表を行った。</p> <p>また、各学校ではホームページ等により情報提供を日常的に行った。</p> <p>地域の方々が授業参観できるよう、中学校では学校公開日を設定し行った。</p>
<b>成果・課題等</b>
<p>学校・家庭・地域との一層の連携が図られ、意見聴取した内容を次年度の重点目標、学力向上を目指す取組に反映することができた。</p> <p>学校教育の進捗状況を学校便りやホームページなどで地域や家庭に情報発信し、学校教育に対する信頼を高めることができ、今後の学校運営の改善と充実に活かすことができた。</p>
<b>今後の方向性</b>
<p>引き続き、学校関係者評価委員や地域・保護者がありのままの学校生活を知ることができるよう、学校公開日や相談日などを積極的・計画的に年間計画に設定する。</p> <p>また、この取組の工夫・改善を一層図り、マネジメントサイクルの機能がより充実していくようにする。</p>
<b>担当課・係</b>
<p>管理課 学校教育係</p>

<b>点検・評価項目</b>
1 学校教育の推進 (3) 開かれた学校の推進と教育活動の改善について 2 大学生や地域の人材、教材、基幹産業である農業を活かした教育活動の推進
<b>平成23年度の取組状況</b>
総合的な学習の時間や体験学習などで、地域の農家へ出向き、直接指導をしていただくなどの学習の取組を実施した。 スクールアシスタントティチャーとして大学生の活用を図った。 また、学校支援地域本部事業による外部人材の活用や、総合的な学習の時間等での外部講師を積極的に活用し、地域の教育力を活かすことに努めた。
<b>成果・課題等</b>
これまでの地域との連携で培った協力体制により、今年度も学校教育活動を充実させることができた。 学校支援地域本部事業の取組は、学校側が要望する支援内容とボランティア側の活動種目との合致が図れるよう学校ニーズに合わせた人材発掘や、これまで以上に連携を図る必要がある。
<b>今後の方向性</b>
引き続き、学校教育活動の充実を図るために、地域の農家の協力を得ながら、当別町の基幹産業である農業を活かした教育活動や地産地消に基づく食育活動を推進する。 また、地域の人材や大学生、学校支援地域本部事業による人材を派遣し、学校ニーズに合わせた教育支援を推進する。
<b>担当課・係</b>
管理課 学校教育係



<b>点検・評価項目</b>
<p>1 学校教育の推進</p> <p>(3) 開かれた学校の推進と教育活動の改善について</p> <p>3 特別支援教育における実践交流や特別支援学校など関係機関からの支援・連携体制の充実</p>
<b>平成23年度の取組状況</b>
<p>平成14年度より介助が必要な児童生徒が在籍する特別支援学級に介助員を、平成20年度より学習支援や安全確保の支援が必要な児童生徒が在籍する普通学級に支援員を配置している。</p> <p>幼稚園・各小・中学校の特別支援教育コーディネーター（教職員）の連絡会議を開催し、指導計画、指導方法等の実践的な交流を行った。</p> <p>平成19年度より特別支援教育推進サポート組織を設置し、巡回相談チームによる学校への相談・支援体制を整えた。</p> <p>弁華別小学校においては、特別支援教育パートナー・ティーチャー派遣事業（文部科学省事業）を活用し、拓北養護学校の教員より指導計画の作成等について助言を受けた。</p> <p>当別小学校に言語障害・学習障害の通級学級を設置している。</p> <p>各学校において、必要に応じ幼稚園、保育所、小学校、中学校、町こども発達支援センター、児童相談所、特別支援学校などの関係機関と連携し、ケース会議を開催するなどして情報共有を行い、児童生徒の支援体制の整備を行った。</p>
<b>成果・課題等</b>
<p>特別な支援を必要とする児童生徒が在籍する学校へ特別支援教育支援員や介助員等の人員配置をし、支援することができた。</p> <p>また、関係機関との連携により支援を必要とする児童生徒や保護者に対する支援体制を整備することもできた。</p> <p>特別な支援が必要な一部の児童生徒の個別の教育支援計画及び全員の個別の指導計画を作成することができた。</p>
<b>今後の方向性</b>
<p>町福祉部と連携し、発達障がい等の早期発見・早期療育へつなぐことが重要であり、一層連携を図るとともに、今後も、幼稚園・保育所と小学校との連携を基に、支援の必要な児童に関する情報交流を深め、就学後の指導体制の確立と指導の充実を図る。</p> <p>特別な支援が必要な児童生徒への支援体制の整備を進める。また、個別の教育支援計画の作成に努める。</p>
<b>担当課・係</b>
管理課 学校教育係

<b>点検・評価項目</b>
<p>1 学校教育の推進</p> <p>(4) 教育環境・施設整備の充実について</p> <p>1 地域防犯連合会や関係機関・団体との情報共有や一体的活動などによる安全・安心の取組の推進</p>
<b>平成23年度の取組状況</b>
<p>各小・中学校においては、地域防犯連合会や関係機関・団体と連携して、朝の声かけ・あいさつ運動の取組を実施した。</p> <p>地域防犯連合会やPTAによる防犯巡回パトロールについては、登下校時間に合わせて行った。</p> <p>不審者情報などを速やかに各小・中学校や関係機関へ情報提供し、少年指導センター指導員による巡回を行った。</p> <p>また、本年度も新小学校1年生全員に防犯ブザーを配付した。</p> <p>各小・中学校は火災や地震などによる避難訓練や防犯教育の取組・学校危機管理マニュアルの見直しを実施した。</p> <p>各小・中学校における自転車の乗り方指導においては、交通ルール・マナーやヘルメット着用について指導した。</p>
<b>成果・課題等</b>
<p>不審者情報を入手した学校においては、情報の内容をもとに、一斉下校、集団下校、地域の見守りなど迅速に対応し、児童生徒の安全確保に努めることができた。</p> <p>学校危機管理マニュアルについては、適宜再点検を図り、教員個々の役割など常に認識することや必要に応じて児童生徒の安全確保、警察への通報体制、学校対応など学校施設に合わせた校内体制を再確認する必要がある。</p>
<b>今後の方向性</b>
<p>引き続き、地域防犯連合会や関係機関・団体と連携し、防犯巡回やあいさつ運動の取組を実施するとともに、新小学校1年生全員に防犯ブザーを配付する。</p> <p>また、交通安全対策として、登下校指導や自転車の乗り方指導の取組を実施する。</p> <p>防災教育にかかる危機管理マニュアルを見直し、災害に対して応用の効く危険予知・回避能力を身に付ける取組の改善を図る。</p>
<b>担当課・係</b>
<p>管理課 学校教育係</p>

<b>点検・評価項目</b>
1 学校教育の推進 (4) 教育環境・施設整備の充実について 2 学校耐震診断結果を踏まえた当別小学校の体育館工事の実施
<b>平成23年度の取組状況</b>
平成21年度に実施した耐震診断により、I s 値（耐震構造指標）0.6未満であった当別小学校の屋内体育館を改築（建替え）により耐震化を行った。
<b>成果・課題等</b>
改築により、阪神淡路大震災規模の耐震性能を有した屋内体育館となった。これにより弁華別小学校を除いて、すべて新耐震基準の校舎・屋内体育館となった。
<b>今後の方向性</b>
平成21年度に実施した耐震診断でI s 値0.6未満であった学校施設の全ての耐震改修が終了した。 今後は、必要に応じて改修工事の取組を検討していく。
<b>担当課・係</b>
管理課 学校教育係

<b>点検・評価項目</b>
<p>1 学校教育の推進</p> <p>(4) 教育環境・施設整備の充実について</p> <p>3 スクールバスの安全運行と地域町民の交通手段補完のための一般混乗試験運行の継続実施</p>
<b>平成23年度の取組状況</b>
<p>学校統廃合や冬期間の遠距離児童生徒の通学確保として、14地区244名の児童生徒を対象にスクールバス（ハイヤー）による送迎を行った。</p> <p>各学校、運行業者と密に連携し、安全運行に努めた。</p> <p>また、運行対象となっている地域住民の交通手段（移動）を補完するため、23年度も試験的に一般混乗事業を実施し、広報や回覧で町民に周知した。（延べ10名の利用）</p> <p>【当別小学校、当別中学校の利用状況】</p> <p>上当別地区（11名）、金沢・中小屋地区（30名）、東裏地区（33名）、蕨岱地区（27名）、川下左岸地区（※夏季ジャンボハイヤー8名）、</p> <p>【西当別小学校、西当別中学校の利用状況】</p> <p>高岡地区（28名）、スウェーデンヒルズ地区（40名）、川下右岸地区（21名）、</p> <p>【弁華別小学校、弁華別中学校の利用状況】 弁華別地区（7名）</p> <p>【冬期（11月～3月）の利用状況】</p> <p>川下左岸・対雁地区（20名）、当別太・ビトエ・獅子内地区（27名）</p>
<b>成果・課題等</b>
<p>スクールバスで児童生徒を送迎することにより、児童生徒の登下校における安全の確保が図られた。</p> <p>児童生徒が減少傾向にあり、バスからハイヤーへの転換など効率的な運行について検討する必要がある。</p> <p>一般混乗は、運行日や時間が学校の都合により変更される事があるため、一部の地域や限られた人のみの利用となったが、延べ人数は増えた。</p> <p>コミュニティーバスとの競合路線地区（スウェーデンヒルズ線、青山弁華別線）について検討する必要がある。</p>
<b>今後の方向性</b>
<p>平成24年度においても、引続きスクールバス（ハイヤー）を安全運行するとともに、一般混乗事業を実施する。</p> <p>スクールバス（ハイヤー）の効率的な運行や一般混合乗車の利用状況を調査する。</p>
<b>担当課・係</b>
管理課 学校教育係

<b>点検・評価項目</b>
<p>2 社会教育の推進</p> <p>(1)家庭や地域の教育力の向上について</p> <p>1 絵本を通しての「心のふれあい推進事業」や地域子育てサークルと連携した「地域子育て活性化事業」などの実施</p>
<b>平成23年度の取組状況</b>
<p>【心のふれあい推進事業】</p> <p>乳幼児10ヵ月健診に訪れる保護者に絵本を手渡し、読み聞かせの大切さや方法などを伝えながら、親子のつながりを深めるきっかけづくりとしてブックスタート事業を推進した。また、フォローアップとして、図書室での絵本の貸出回数に応じて賞状を手渡す「ブックロール」の取組実施や読み聞かせ啓発プリント配布と事後アンケートを実施した。(63組参加)</p> <p>【地域子育て活性化事業「クリスマス会」】</p> <p>ツリーの飾りつけ(折り紙制作)、マジックショー、ハンドベル演奏、サンタクロースからのプレゼント等を行った。(幼児・小学生65名 大人43名参加)</p> <p>【父親を対象とした子育て講座】田の沢公園で実施</p> <p>「父子 de 田植え！」(父子9組20名参加)</p> <p>「父子 de 稲刈り！」(父子14組31名参加)</p> <p>「米粉 de レッツクッキング！」餅つき・調理・試食を行った(父子7組17名参加)</p>
<b>成果・課題等</b>
<p>【心のふれあい推進事業】</p> <p>絵本の楽しさ、素晴らしさ、親子がコミュニケーションをとることの大切さを伝える機会となった。ブックスタート開始から8年が経過し、これまでのアンケート結果からブックスタートの認知度や子どもと一緒に絵本を読んでいる割合が増加しており、取組効果が見えてきている。(ブックスタート認知度23年65%、絵本を読んでいる割合23年90%)</p> <p>【地域子育て活性化事業「クリスマス会」】</p> <p>折り紙グループ等の団体の協力もあり、親子や友達同士と一緒に体験したり、鑑賞したりする機会を設け、楽しさを共感・共有し合えるものとなった。「折り紙制作が難しかった」等の意見から、幅広い年齢の子どもたち(乳児～小学生)が楽しめるような内容の検討が必要である。</p> <p>【父親を対象とした子育て講座】</p> <p>一貫性を持った事業展開を行い、より良い父子関係を築くとともに、父親の家庭教育への参加啓発が図られた。また、米づくりの大切さを学び、郷土への誇りと愛着心を高めることができた。</p>
<b>今後の方向性</b>
<p>【心のふれあい推進事業】</p> <p>絵本を通じた情操教育、親子のふれあいやコミュニケーション手法を学ぶ機会として大切であることから継続実施する。</p> <p>【地域子育て活性化事業】</p> <p>親子のふれあいや友だち作りの場となるように、町部局と子育て支援係との連携や協力を深めながら事業内容について検討する。</p> <p>【父親を対象とした子育て講座】</p> <p>父子のふれあいやより良い父子関係を築くことができ、米づくりの大切さを学ぶ機会として、今後も継続実施する。</p>
<b>担当課・係</b>
社会教育課 社会教育係

<b>点検・評価項目</b>
<p>2 社会教育の推進</p> <p>(1) 家庭と地域の教育力の向上について</p> <p>2 「学校支援地域本部事業」における地域人材の発掘・活用による支援体制の充実</p>
<b>平成23年度の取組状況</b>
<p>学校支援地域本部に地域コーディネーターを配置し、地域の人々によるさまざまな学校支援活動を展開した。</p> <p>学校支援ボランティア募集のチラシの全戸回覧や公共施設等への掲示等を行い、広く周知した。</p> <p>また、ボランティアの意欲向上及びボランティア同士の交流を図るため、ボランティアの交流会を開催した。さらに今年度初めて、長期休業中の学習支援を当別小学校で行った。</p> <p><b>【支援活動】</b></p> <p>環境整備・交通安全指導等支援、読書指導支援（読み聞かせ・図書整理）</p> <p>中学校家庭科指導支援（浴衣の着付け）</p> <p>小中学校体育科指導支援（スキー・水泳・柔道）</p> <p>小学校生活科・総合的な学習支援（国際理解）、小学校クラブ活動支援</p> <p>中学校部活動支援（相撲）、職場体験学習支援、学力向上支援（長期休業中の学習）</p> <p>生活科学習支援（昔遊び）</p>
<b>成果・課題等</b>
<p>地域コーディネーターの配置により効果的な学校活動支援を実施することができた。</p> <p>学校支援活動のPR紙である「アシスト通信」、広報誌、教育委員会だよりで、広く活動周知を図ることで地域の学校への教育活動支援の気運を高めることができた。</p> <p>地域住民が自らの知識や経験を教育に活かすことができ、自己実現や生きがいづくりにつながった。</p> <p>ボランティアの登録者の拡大や活用、学校支援活動の更なる拡充を図る必要がある。</p>
<b>今後の方向性</b>
<p>他市町村の先進的な取組等を情報収集し、参考にしながら効果的な学校支援活動を行っていく。</p> <p>学校のニーズに応えられるようボランティア登録の拡大を目指した広報、チラシ、ポスター等を活用して引き続き周知を行い、今後も学校支援ボランティアの活用促進を図る。</p>
<b>担当課・係</b>
<p>社会教育課 社会教育係</p>

<b>点検・評価項目</b>
<p>2 社会教育の推進</p> <p>(1) 家庭と地域の教育力の向上について</p> <p>3 規律ある生活、基本的な生活習慣の確立のため、関係機関との連携強化による「早寝早起き朝ごはん」運動の取組</p>
<b>平成23年度の取組状況</b>
<p>啓発ロゴを印刷した教育委員会封筒を活用しながら、啓発に努めた。</p> <p>PTA や育成会、少年団等の定期総会時にチラシを配布し、関係団体と連携した意識啓発活動を行った。</p> <p>小学生が参加する通学合宿やジュニアリーダーセミナー等、宿泊研修において、規則正しい生活習慣を意識した事業として開催した。</p> <p>教育委員会のホームページに「早寝早起き朝ごはん」運動を掲載した。</p> <p>「早寝早起き朝ごはん」運動の啓発強化期間である12月に役場職員に対して、庁舎内ホームページ掲示板を活用して周知したり、小・中学校冬季休業前日に役場庁内放送で、来庁者等に「早寝早起き朝ごはん」を呼びかけた。</p> <p>「当別町家庭教育の手引き」を作成し、全児童生徒の家庭に配布し、また、社会教育施設に配置するなどして、広く周知を図った。</p>
<b>成果・課題等</b>
<p>宿泊を伴う通学合宿事業では、参加した子どもたちに規律ある生活習慣を定着させることができた。</p> <p>「早寝早起き朝ごはん」に対する意識啓発に向けて、関係団体へのチラシ配布や、各学校との連携により、規則正しい生活習慣への関心を高めることに確実に繋がっていると考え、今後も継続して啓発活動及び連携を行う。</p> <p>小・中学生に対し「当別町家庭教育の手引き」を活用し、家庭との連携はもとより小・中学校や関係団体と連携した意識啓発活動を継続して実施する必要がある。</p>
<b>今後の方向性</b>
<p>子どもの規則正しい生活習慣の確立のために、各家庭の理解と活動の実践が必要であり、小・中学校や青少年を対象にした事業等で「当別町家庭教育の手引き」を活用しながら、保護者や青少年、小・中学校等に対して「早寝早起き朝ごはん」運動の啓発活動を進める。また、特に啓発強化期間において保護者等に働きかける。</p>
<b>担当課・係</b>
<p>社会教育課 社会教育係</p>

<b>点検・評価項目</b>
<p>2 社会教育の推進</p> <p>(2) 青少年教育の推進について</p> <p>1 少年指導センターにおける機動的な対応や、指導機関、関係機関との情報共有や連携強化による町内巡回指導の充実</p>
<b>平成23年度の取組状況</b>
<p>町内小・中・高等学校での日常的な生徒指導・安全指導の充実のために、各学校と定期的に情報交換を行った。</p> <p>当別交番、太美駐在所と密接に情報の共有と連携を行った。</p> <p>地域防犯連合会（当別地区、西当別地区、北地区（弁華別地域））と情報の提供及び交流を行った。</p> <p>防犯連絡会議事務局と常に情報の共有を行った。</p> <p>小・中・高等学校教員、北警察署少年補導委員、民生児童委員、各PTA育成会で構成する当別地区17人・西当別地区11人による、少年指導委員の定期夜間巡回及び祭典時の特別巡回を行った。</p> <p>専任指導員による町内の昼間巡回と関係施設等を訪問して情報交換を行った。</p> <p>問題行動等が発生した時には、専任指導員の巡回を強化し、学校へ出向き教諭等と対処に向けた活動を行った。</p> <p>少年指導センターだより（年3回）、健全育成啓発チラシ（年1回）を発行した。</p>
<b>成果・課題等</b>
<p>学校、警察及び防犯連絡会議との情報交換により、情報の共有を密に行った。</p> <p>少年指導委員による巡回や関係機関との連携により、問題行動の発生が激減した。</p> <p>公園にゴミが散乱するなど公共心の欠如が心配される状況である。</p>
<b>今後の方向性</b>
<p>専任指導員・少年指導委員による町内巡回及び学校や関係機関、教育委員会学校教育指導員と連携を図り青少年に対する健全育成指導を充実する。</p> <p>児童生徒及び地域住民に対し、不審者出没時の警察への通報を速やかに行うよう指導及び啓発を行う。</p> <p>地域・家庭に対して公共心の向上を図るよう少年指導センターだよりや健全育成啓発チラシの発行により啓発を行う。</p> <p>学校、警察及び防犯連絡会議等関係機関や関係施設等を定期的に訪問し、情報交流、情報共有を強める。</p>
<b>担当課・係</b>
<p>社会教育課 社会教育係</p>



<b>点検・評価項目</b>
2 社会教育の推進 (2) 青少年教育の推進について 2 インターネット上の被害及び加害防止のためのネット巡回の強化
<b>平成23年度の取組状況</b>
インターネット上に児童生徒が書き込んでいる友人関係や問題行動等について、当別町少年指導センター専任指導員が日常的な巡回を行った。 問題のある書き込み4件を発見し、必要な対応を学校など関係機関と連携して行った。
<b>成果・課題等</b>
ネット巡回により、児童生徒の不規則な生活の様子やモラルを逸脱した4件の書き込み情報を得て、学校や関係機関と連携しながら児童生徒の指導に活かすことができた。 平成23年度において誹謗・中傷等のネット被害はなかったが、今後も個人情報の保護に十分配慮したネット巡回の取組を行う必要がある。
<b>今後の方向性</b>
インターネット上のトラブル防止のため、早期発見と即時対応ができるよう各サイトの検索を午前・午後の各2回きめ細かく行い、ネット巡回を今後も継続強化する。 問題のある書き込みを発見したときは即時、教育委員会管理課・学校・警察等に連絡し、関係機関との連携強化を図る。
<b>担当課・係</b>
社会教育課 社会教育係

<b>点検・評価項目</b>
<p>2 社会教育の推進</p> <p>(2) 青少年教育の推進について</p> <p>3 子どもの自立性、協調性を育てる「通学合宿事業」の継続実施</p>
<b>平成23年度の取組状況</b>
<p>平成23年7月4日～9日に西当別コミュニティーセンターにおいて、町内小学5・6年生35名が5泊6日の共同生活をする中で「生きる力」を育み、子どもの自立心や協調性を養うとともに、「早寝早起き朝ごはん」の実践と学習習慣の定着を図るプログラムを実施した。</p> <p>参加者全員が役割を担い、毎日の班長会議でふりかえりと行動改善することで責任意識と自立心を養うことができるよう工夫した。</p>
<b>成果・課題等</b>
<p>親元から離れて、共同生活をするにより、参加者は自分のことは自分で行う習慣が身に付き、参加者同士のコミュニケーションが図られ、家族や周りの人への感謝の気持ちを持つことができた。併せて、「早寝早起き朝ごはん」を通じて規則正しい生活習慣と家庭学習の定着を図ることができた。</p> <p>また、合宿直後は規則正しい生活や手伝いを進んで行なう力が身に付いていたが、今後、その定着の検証の充実が必要である。</p>
<b>今後の方向性</b>
<p>さらなる生活習慣の定着を図る試みとして事業後に再度短期間の通学合宿を実施し、事業後の生活をふりかえる機会を設ける。</p> <p>将来的に地域が主体となった取組となるよう、実行委員の役割を明確にし、実行委員が主体性をもって事業に関われるよう配慮し、地域の教育力の向上を目指す。</p> <p>また、多くの小学生が参加できるよう工夫をする。</p>
<b>担当課・係</b>
<p>社会教育課 社会教育係</p>

<b>点検・評価項目</b>
<p>2 社会教育の推進</p> <p>(2) 青少年教育の推進について</p> <p>4 ジュニアリーダーや子ども会リーダー育成事業及び多くの子どもが参加できる子ども会事業の工夫</p>
<b>平成23年度の取組状況</b>
<p>【リーダー育成事業】</p> <p>小学生を対象とした事業の企画・運営や、他市町村との交流を通して、将来の地域活動の担い手になるための子ども会の中高校生リーダーを育成及び資質向上を図った。</p> <p>また、「こころのふれあい通学合宿 in 当別」での小学生の生活サポート、夏至祭、町内会お祭り協力などを実施した。</p> <p>【子ども会事業の工夫】</p> <p>各地区会育成会と連携し、大会事業（大運動会、スーパードッジボール大会、新春子どもカルタ大会等）、育成事業（子ども会リーダー及び育成指導者研修会、ジュニアリーダーセミナー等）を実施した。</p> <p>平成23年度から開催している大運動会では、子どもたちの参加はもとより、保護者も参加して子どもたちと一緒に楽しむことができる競技を実施した。</p>
<b>成果・課題等</b>
<p>【リーダー育成事業】</p> <p>町や地域のイベントに関わることで、これから地域を担う人材としての意識の向上を図ることができた。課題として、勉強や学校の部活動との両立が困難といった理由でリーダーが減少傾向にある。</p> <p>【子ども会事業の工夫】</p> <p>各種事業を通じて、地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりを進めることができた。</p> <p>子供会員の減少により休会を余儀なくされている子ども会がある。</p> <p>学校の中だけではできないさまざまな社会体験の場、異年齢交流の場として子ども会の活動・充実が必要である。</p> <p>大運動会では、子どもから大人まで多くの参加者が集まり、地域交流の場となった。</p>
<b>今後の方向性</b>
<p>【リーダー育成事業】</p> <p>勉強や学校の部活動との両立が困難であるという課題解決のため、保護者や地区育成会、学校等と連携を深めながら、ジュニアリーダー組織や活動意識、活動内容そのものの理解が得られるようPR活動に力を入れる。</p> <p>【子ども会事業の工夫】</p> <p>子ども同士の集団活動の機会が減少している中で、子どもの社会的自立や協調性を育む意味からも、大運動会や新春子どもカルタ大会などの各行事において、子ども会がない地区からも参加ができるよう個人参加も認める形で門戸を広げながら、さらに異年齢交流の機会の充実を図るよう努める。</p>
<b>担当課・係</b>
<p>社会教育課 社会教育係</p>

<b>点検・評価項目</b>
2 社会教育の推進 (2) 青少年教育の推進について 5 「少年の意見発表会」の実施
<b>平成23年度の取組状況</b>
<p>平成24年2月18日に白樺コミュニティーセンターにおいて、当別町内の小・中・高等学校の児童生徒14名が、日頃より感じ、考え、体験したことなどを聴衆に発表した。</p> <p>小学生・中学生・高校生の各部門に最優秀賞1名ずつ、その他参加者においては優秀賞を授与した。</p>
<b>成果・課題等</b>
<p>日頃より、感じ、考え、体験したことなどを聴衆に発表することにより、児童生徒の広い視野や考え方の深化、感性などの心の成長、またその発表を聴衆が受け止めることにより、青少年に対する関心と理解を深め、「地域の子どもは地域住民が守り育てる」意識を向上させ、青少年健全育成の推進が図られた。</p>
<b>今後の方向性</b>
<p>「少年の意見発表会」を通して、青少年健全育成の推進を図るために、より多くの方に聞いていただくよう、町内会をはじめ単位育成会や各小・中学校PTAなどの関係団体にも案内する。</p>
<b>担当課・係</b>
社会教育課 社会教育係

<b>点検・評価項目</b>																															
2 社会教育の推進																															
(3) 成人教育の推進について																															
1 町民が興味を持って参加できる「町民自主企画講座」や道医療大学連携セミナー「当別学講座」、「ことぶき大学」の開催実施																															
<b>平成23年度の取組状況</b>																															
<p>【町民自主企画講座】</p> <p>町民自らが学習ニーズを反映し、企画する講座等の開催を支援した。(講師謝金の補助、社会教育施設使用料の減免、広報活動の支援等)</p> <table border="0"> <tr> <td>「布の絵本作り」</td> <td>参加者</td> <td>49名</td> </tr> <tr> <td>「当別文芸セミナー」</td> <td>参加者</td> <td>43名</td> </tr> <tr> <td>「くらしの地域特産品開発セミナー」</td> <td>参加者</td> <td>59名</td> </tr> <tr> <td>「西当別コミセンではじめてのカラオケ教室」</td> <td>参加者</td> <td>24名</td> </tr> <tr> <td>「地域ネットワークを生かしたまちづくりワークショップ」</td> <td>参加者</td> <td>19名</td> </tr> </table> <p>【北海道医療大学連携セミナー「当別学講座」】</p> <p>北海道医療大学と共催し、さまざまな形態の学習機会を広く町民に提供した。</p> <table border="0"> <tr> <td>「ラベンダーの香りを採ってみよう」</td> <td>参加者</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>「ラベンダーの香りのカモミールクリームを作しましょう」</td> <td>参加者</td> <td>18名</td> </tr> <tr> <td>「パソコンでミニバックを作ろう」</td> <td>参加者</td> <td>18名</td> </tr> <tr> <td>「禁煙したい方へⅠ」「禁煙したい方へⅡ」</td> <td>参加者</td> <td>16名</td> </tr> <tr> <td>「小学生1日歯医者さん」</td> <td>参加者</td> <td>22名</td> </tr> </table> <p>【高齢者学園「ことぶき大学」】</p> <p>切り絵教室、パークゴルフ体験、温泉研修など年間19回の講座を通じ、高齢者に対する学習機会の提供と生きがいづくりの機会を提供した。(受講登録者50名)</p>		「布の絵本作り」	参加者	49名	「当別文芸セミナー」	参加者	43名	「くらしの地域特産品開発セミナー」	参加者	59名	「西当別コミセンではじめてのカラオケ教室」	参加者	24名	「地域ネットワークを生かしたまちづくりワークショップ」	参加者	19名	「ラベンダーの香りを採ってみよう」	参加者	19名	「ラベンダーの香りのカモミールクリームを作しましょう」	参加者	18名	「パソコンでミニバックを作ろう」	参加者	18名	「禁煙したい方へⅠ」「禁煙したい方へⅡ」	参加者	16名	「小学生1日歯医者さん」	参加者	22名
「布の絵本作り」	参加者	49名																													
「当別文芸セミナー」	参加者	43名																													
「くらしの地域特産品開発セミナー」	参加者	59名																													
「西当別コミセンではじめてのカラオケ教室」	参加者	24名																													
「地域ネットワークを生かしたまちづくりワークショップ」	参加者	19名																													
「ラベンダーの香りを採ってみよう」	参加者	19名																													
「ラベンダーの香りのカモミールクリームを作しましょう」	参加者	18名																													
「パソコンでミニバックを作ろう」	参加者	18名																													
「禁煙したい方へⅠ」「禁煙したい方へⅡ」	参加者	16名																													
「小学生1日歯医者さん」	参加者	22名																													
<b>成果・課題等</b>																															
<p>【町民自主企画講座】</p> <p>町民の自主的な講座の企画・運営を支援することで、主体的な生涯学習活動を推進することができた。講座数、参加者数ともに増加し実績も伸びている。(2講座、72名)</p> <p>【北海道医療大学連携セミナー「当別学講座」】</p> <p>より深い学習ができるよう2回シリーズの講座を設定するなど、町民ニーズに対応した。多彩な講座内容を提供できるよう北海道医療大学と連携し、成果を上げることができた。</p> <p>【高齢者学園「ことぶき大学」】</p> <p>趣味や教養を身に付け、健康・体力づくりを図る活動などに参加し、高齢者の生きがいづくりの場となった。</p>																															
<b>今後の方向性</b>																															
<p>今後も、町民または北海道医療大学と連携しさまざまな学習機会の提供を積極的に推進していく。当別学講座については、北海道医療大学にある薬草園を活かした講座や小学生向けの講座の人気の高いことから、そうした講座を中心に企画立案を進める。また、ことぶき大学では、アンケートや企画委員の意見を踏まえて、魅力ある講座を企画し、達成感・満足感が得られる講座を企画する。</p>																															
<b>担当課・係</b>																															
社会教育課 社会教育係																															

<b>点検・評価項目</b>															
<p>2 社会教育の推進</p> <p>(3) 成人教育の推進について</p> <p>2 地域人材を活用した出前講座である「とうべつ知恵袋」の開催、人材バンク登録の拡大</p>															
<b>平成23年度の取組状況</b>															
<p>多彩な知識や技能をもつ地域の人材(12分野15名)の登録と、その人材を活用した講座の開催をした。</p> <p>講師派遣実績 全5回</p> <table border="0"> <tr> <td>「星の観測会 IN TOBETSU」</td> <td>依頼団体：当別町子ども会育成連合会</td> <td>参加者 40名</td> </tr> <tr> <td>「豆腐づくり」</td> <td>依頼団体：スターライト町内会婦人部</td> <td>参加者 21名</td> </tr> <tr> <td>「木工クラフト」</td> <td>依頼団体：六軒町町内会</td> <td>参加者 14名</td> </tr> <tr> <td>「英語であそぼう」</td> <td>依頼団体：地域住民</td> <td>参加者 20名</td> </tr> <tr> <td>「リンパマッサージ」</td> <td>依頼団体：東稜保健推進員</td> <td>参加者 14名</td> </tr> </table> <p>出前講座「とうべつ知恵袋」の活用促進のため広報等で周知した。</p>	「星の観測会 IN TOBETSU」	依頼団体：当別町子ども会育成連合会	参加者 40名	「豆腐づくり」	依頼団体：スターライト町内会婦人部	参加者 21名	「木工クラフト」	依頼団体：六軒町町内会	参加者 14名	「英語であそぼう」	依頼団体：地域住民	参加者 20名	「リンパマッサージ」	依頼団体：東稜保健推進員	参加者 14名
「星の観測会 IN TOBETSU」	依頼団体：当別町子ども会育成連合会	参加者 40名													
「豆腐づくり」	依頼団体：スターライト町内会婦人部	参加者 21名													
「木工クラフト」	依頼団体：六軒町町内会	参加者 14名													
「英語であそぼう」	依頼団体：地域住民	参加者 20名													
「リンパマッサージ」	依頼団体：東稜保健推進員	参加者 14名													
<b>成果・課題等</b>															
<p>町民の学習機会の提供とともに、地域の人材を活用することで学習した成果や、もっている技能・知識を活かす機会となった。</p> <p>人材バンク登録者数は、前年度から3名増加し、幅広い講座メニューを提供することができた。</p> <p>他部局と連携した事業PRや健康福祉出前講座冊子（福祉課作成）を見た町民からの申込みが数件あったが、利用件数は前年度に比べ減少した。従来からの町広報や全戸回覧チラシによる事業紹介では周知範囲に限りがあることからPR方法を検討する。</p>															
<b>今後の方向性</b>															
<p>広報誌等で町民に対する周知をしながら、人材バンクの活用機会の拡大と人材バンクの登録者の拡充に努め、多彩な学習ニーズに応えられる人材バンクづくりを進める。</p> <p>利用の拡大に向けては、教育委員会事業で人材バンク講師を活用した取組の工夫や、町内会や子ども会等へのPRなどの周知の工夫をする。</p>															
<b>担当課・係</b>															
<p>社会教育課 社会教育係</p>															

<b>点検・評価項目</b>																									
<p>2 社会教育の推進</p> <p>(4) 文化・芸術活動の推進について</p> <p>1 社会教育施設における文化関係の展示場所の整備及び関係団体と連携した自主的・創造的な芸術文化活動の推進</p>																									
<b>平成23年度の取組状況</b>																									
<p>当別町文化協会が主催する第62回文化祭は総合展示場として西当別コミュニティーセンターアリーナ、音楽・ピアノコンサートは舞台発表の場として同センター大会議室、菊花展・生け花展をふれあい倉庫で開催した。</p> <table> <tr> <td>舞台発表</td> <td>出演団体</td> <td>24団体</td> <td>1個人</td> <td>(350名)</td> </tr> <tr> <td>総合展示</td> <td>出展者</td> <td>24団体</td> <td>11個人</td> <td>(249名) 455作品</td> </tr> <tr> <td>菊花展</td> <td>出展者</td> <td>1団体</td> <td>125</td> <td>作品</td> </tr> <tr> <td>生け花展</td> <td>出展者</td> <td>1団体</td> <td>26</td> <td>作品</td> </tr> <tr> <td>音楽・ピアノコンサート</td> <td>出演者</td> <td>9団体</td> <td>(130名)</td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 文化祭総入場者数 3,171名(昨年2,854名)</p> <p>社会教育施設の展示スペースを広報誌などで町民に周知しながら、芸術文化活動の作品展示を行った。</p>	舞台発表	出演団体	24団体	1個人	(350名)	総合展示	出展者	24団体	11個人	(249名) 455作品	菊花展	出展者	1団体	125	作品	生け花展	出展者	1団体	26	作品	音楽・ピアノコンサート	出演者	9団体	(130名)	
舞台発表	出演団体	24団体	1個人	(350名)																					
総合展示	出展者	24団体	11個人	(249名) 455作品																					
菊花展	出展者	1団体	125	作品																					
生け花展	出展者	1団体	26	作品																					
音楽・ピアノコンサート	出演者	9団体	(130名)																						
<b>成果・課題等</b>																									
<p>昨年よりも多くの町民が文化祭で芸術文化活動に触れることができた。</p> <p>文化協会の加盟団体・会員数の減少や文化祭への出展者、出演者が減少していることが課題である。</p>																									
<b>今後の方向性</b>																									
<p>現在、社会教育課で抱えている文化協会の事務局については、町民の主体的な取組になるよう促していく。</p> <p>今後も社会教育施設やふれあい倉庫などの展示スペースを活用しながら、文化芸術活動の発表の場として作品の展示を行い、町民が芸術文化活動に興味・関心をもてるような機会をつくっていく。</p> <p>札幌市や他市村で開催される北海道シルバー作品展や石狩管内郷土芸術祭展示部門などの展示会についても町民に周知していく。</p>																									
<b>担当課・係</b>																									
社会教育課 社会教育係																									

<b>点検・評価項目</b>
<p>2 社会教育の推進</p> <p>(4) 文化・芸術活動の推進について</p> <p>2 「子どもの読書活動推進計画」に基づいた関係機関やサークルなどと連携した取組の推進</p>
<b>平成23年度の取組状況</b>
<p>【巡回図書】</p> <p>町内小学校への新刊児童図書の貸し出しを年間6回実施した。</p> <p>町内幼稚園・保育所への新刊児童図書の貸し出しを年間3回実施した。</p> <p>【当別町子どもの読書活動推進計画】</p> <p>町内読書関係者による意見交換会を年2回開催し、評価を行った。</p> <p>中間評価 平成23年10月18日</p> <p>最終評価 平成24年 2月23日</p>
<b>成果・課題等</b>
<p>町内読書関係者による意見交換会を開催することで、学校における読み聞かせやボランティア活動の取組などの情報を得ることができた。</p> <p>小学校への巡回図書は、図書の内容等について各学校との連携を深める必要がある。</p> <p>幼稚園、保育所への巡回図書は回数を増やす必要がある。</p> <p>家庭における読書の習慣付けを図る必要がある。</p>
<b>今後の方向性</b>
<p>「うちどくノート」を町で作成し、家庭における読書の習慣付けや家族のコミュニケーションを図る取組を行い、継続的に進めていけるよう適宜啓発していく。</p> <p>巡回図書について、季節を感じられる選書に留意し各小学校に年6回の貸し出しを実施する。</p> <p>幼稚園・保育所については、年4回に増やす。</p>
<b>担当課・係</b>
<p>社会教育課社会教育係</p>



<b>点検・評価項目</b>
<p>2 社会教育の推進</p> <p>(4) 文化・芸術活動の推進について</p> <p>3 読書週間の設定や絵本の読み聞かせ事業の実施、図書情報の提供など、図書室蔵書貸出しの向上に向けた活動と学習交流センターの利用促進</p>
<b>平成23年度の取組状況</b>
<p><b>【ブックフェスタ2011「夏休みお楽しみ会」】</b></p> <p>7月30日、学習交流センターにおいておはなし会（絵本・紙芝居）、折り紙遊びを行い、幼児6名、小学生6名、大人7名の計19名の参加を得た。</p> <p><b>【秋の読書週間】</b></p> <p>10月27日から11月9日まで学習交流センター・西当別コミュニティセンター図書室において、貸出冊数の増冊(10冊まで)等を行い、期間中、4冊以上の貸出実績が227件1,552冊となったのをはじめ、同時に開催した「こども館長」に15名、おはなし会に幼児6名、小学生14名の参加を得た。</p> <p><b>【古本市】</b></p> <p>7月中旬から8月初旬までと、10月下旬から11月上旬までの期間において日にちを設定し、学習交流センターと西当別コミュニティセンターの両会場で合計276名の来場を得た。</p> <p>準備した一般書1,043冊・児童書553冊のうち一般書712冊・児童書516冊が利用された。</p> <p><b>【いのちの図書】</b></p> <p>北海道医療大学の蔵書を、両図書室に年間16回各50冊借り受けて広く町民に貸出した。</p> <p>学習交流センターで347冊、西当別コミュニティセンター図書室で152冊の延べ貸出数があった。</p> <p><b>【図書室利用者数及び貸出数】</b></p> <p>学習交流センター図書室は、6,726人の利用者と16,589冊の貸出しがあった。</p> <p>西当別コミュニティセンター図書室は、7,764人の利用者と19,014冊の貸出しがあった。</p>
<b>成果・課題等</b>
<p>図書室の蔵書数、貸出数が増加したが、今後も利用の拡大を図るため、さまざまな機会に図書室の周知広報を図る。</p>
<b>今後の方向性</b>
<p>管内市町村や道立図書館との相互貸借を継続して実施する。</p> <p>図書室にかかわる年間行事について、関係機関（読書サークル等）に周知し、利用拡大に向けての意見交換を行ったり行事のサポートについて協力依頼をしたりするなど、連携を深めていく。</p>
<b>担当課・係</b>
<p>社会教育課 社会教育係</p>

<b>点検・評価項目</b>
2 社会教育の推進 (4) 文化・芸術活動の推進について 4 歴史ボランティアの活動支援による歴史関係事業の推進
<b>平成23年度の取組状況</b>
町の歴史や文化財に関するボランティアや指導者を育成し、ボランティアが将来にわたり歴史を後世に伝えていく語り部となるよう歴史ボランティアの会の支援を進めた。 歴史ボランティアの会（会員17名）の活動 例会（月1回） 歴史ガイドマニュアル作成のための小委員会（年5回） 「伊達邦直主従北海道移住の地」碑の環境整備 伊達記念館などのガイド 歴史研究専門員を配置し、当別町の歴史研究と調査を行い、一般者からの歴史に関する問い合わせに的確に対応した。
<b>成果・課題等</b>
町内を訪れる方々に、本町の歴史案内用ガイドマニュアルを作成するために月1回の例会のほか例会前の小委員会を開催し意見交換、資料作りを進めるなかで、歴史の調査や伝承活動に対する機運が一層高まった。 また、歴史研究専門員がガイド用解説文書を作成し、町の歴史に関する問合せに対する的確な対応を行うことができた。
<b>今後の方向性</b>
歴史ガイドマニュアルの作成を進める他、町内を訪れる人に対して本町の歴史を案内できるボランティアの育成を推進する。 学習会及び視察研修等の歴史調査・伝承活動、展示事業など、歴史ボランティアの会の主体的な活動を推進するための支援を行う。 歴史研究専門員を継続して配置し、当別町開拓以後の歴史の調査・伝承を進める。
<b>担当課・係</b>
社会教育課 社会教育係

<b>点検・評価項目</b>
2 社会教育の推進 (5) スポーツ活動の振興について 1 町民のニーズ・興味に応じたスポーツの紹介事業の取組
<b>平成23年度の取組状況</b>
町民が生涯に渡りスポーツに親しめるようスポーツを広く普及すると共に、町民のニーズに応じたスポーツやニュースポーツ体験の機会の提供並びに指導を目的にスポーツ推進委員と連携した派遣事業を実施した。 【ニュースポーツチャレンジ】 キンボール 西当別小学校 2年PTA (児童及び保護者104名) 当別小学校 3年1組PTA (児童及び保護者58名) カローリング 西当別小学校 5年2組PTA (児童及び保護者58名) 【スポーツ指導員派遣事業】 当別町スポーツ少年団本部「体力テスト」(参加者91名) 当別町子ども会育成連合会「スーパードッジボール大会」(参加者269名) 当別総合型地域スポーツクラブ「ドッジボールマッチinとうべつ」(参加者179名) 六軒町地区婦人部「体力テスト」(参加者12名) 権戸婦人部「体力テスト」(参加者18名)
<b>成果・課題等</b>
各種スポーツ紹介事業等について、当別町健康福祉出前講座に登録し、より広く町民に周知することでスポーツ体験の機会を提供・支援したが、さらに多くの町民に活用されるように周知することと指導種目を増やすことが課題である。 また、スポーツ推進委員が各種研修会等に参加することで指導種目の充実(筋力トレーニング・ここから体操)及び指導者としての資質向上を図った。
<b>今後の方向性</b>
今後もスポーツ推進委員による各種スポーツ紹介事業の継続及び総合型地域スポーツクラブと連携した子どもに対するコーディネーショントレーニングの実施、さらに、指導者となるスポーツ推進委員の指導種目の拡充及び指導者としての資質向上を図る。
<b>担当課・係</b>
社会教育課 スポーツ振興係

<b>点検・評価項目</b>
<p>2 社会教育の推進</p> <p>(5) スポーツ活動の振興について</p> <p>2 子どもの体力・運動能力の向上及び多世代が多種目のスポーツに親しむことを目的とした「総合型地域スポーツクラブ」の運営支援</p>
<b>平成23年度の取組状況</b>
<p>総合型地域スポーツクラブに対して、日本体育協会との連絡調整・各種申請手続き・スポーツ教室等の企画運営・事業周知方策等について指導を行った。</p> <p>【スポーツ教室】 ヨガ 34回(240名)  バランスポール 36回(229名)  気功 20回(132名)  スイミング 13回(363名)  スポーツ塾(11種目) 24回(278名)</p> <p>【イベント・大会】 ストックウォーキング 16回(172名)  夏至祭ストックウォーク 1回(17名)  道民の森登山 1回(14名)  坐禅&amp;ヨガ 1回(13名) 阿蘇岩ウォーキング 1回(51名)  ドッジボールマッチ in とうべつ 1回(179名)</p> <p>【その他】 木版画教室 1回(11名) スポーツ講演会 1回(76名)</p>
<b>成果・課題等</b>
<p>スポーツクラブが実施した事業に子どもから大人までの幅広い世代の町民が、ヨガ、ウォーキング等に参加してスポーツの楽しさを体験した。また、広報活動として町ポータルサイトにホームページを開設することでクラブの活動情報を広く周知した。</p> <p>さまざまな事業を実施し、1,775名(対前年比738名増)の町民が参加していることからクラブの認知度は徐々に増しているが、自主運営に向けた組織体制の確立に向け、今後も各分野において指導・支援が必要である。</p>
<b>今後の方向性</b>
<p>当別総合型地域スポーツクラブが多岐、多種目、多世代に渡るニーズに対応できるメリットを活かした活動の安定化と自立した団体として法人格の取得、自主財源の確保に向けた支援を行う。</p>
<b>担当課・係</b>
<p>社会教育課 スポーツ振興係</p>

<b>点検・評価項目</b>
2 社会教育の推進 (5) スポーツ活動の振興について 3 健康増進や運動習慣定着のための「フィットネスカレッジ」の実施
<b>平成23年度の取組状況</b>
<p>町民の健康増進及び生活習慣病をはじめとした疾病の1次予防となる自発的な健康増進への取組のため、運動実践機会の提供及び運動習慣の継続支援を通じて、身近に、気軽に生涯スポーツとしてのフィットネスを体験できる環境を提供することを目的に、健康運動指導士による個別運動相談及び生活環境や身体状況にあわせた個別運動メニューの作成と、ストレッチ・筋肉トレーニング・ヨガストレッチ・ウォーキング・エアロビクス等を初めての方でも実践しやすく、家庭でも継続して行えるようアレンジした体験プログラムを実施した。</p> <p>対 象 町内に在住及び勤務する18歳以上の男女  日 時 平成23年11月から平成24年3月までの毎週木曜日  午後2時00分～午後4時00分（計20回）  会 場 西当別コミュニティーセンター アリーナ  当別町総合体育館2階 格技室  参加料 65歳未満の方は1回につき500円、65歳以上の方は1回につき250円  事業登録者 70名（延べ参加者407名）</p>
<b>成果・課題等</b>
<p>幼児を伴った方でも参加できるよう環境を整えたことにより20～70歳代まで幅広い年代の方が参加し、多くの参加者が1回のみではなく継続参加したことにより運動習慣の定着を図ることができた。</p> <p>高齢者への運動習慣を支援する情報提供、また、運動の動機づけや継続を支援し、フィットネスを楽しめる環境を提供した。</p> <p>冬期間の屋内スポーツを主体に11月から3月に開催する事業であることから、平成23年度は冬型の天候不順が大きく影響し、また、スポーツメニューを習得した参加者が事業から卒業したため参加者数が減少した。</p>
<b>今後の方向性</b>
<p>町福祉部や住民環境部とも連携し、各部主催事業参加者にも事業周知をするなど周知方法を工夫して多くの町民に参加できるよう実施する。</p> <p>また、より多くの町民が参加しやすい曜日・時間帯の設定等を検討する。</p>
<b>担当課・係</b>
社会教育課 スポーツ振興係

## 第4章 学識経験者による意見

教育委員会の活動状況や施策・事業等の点検及び評価の客観性を確保するとともに、今後の取組に反映させるため、教育に関し学識経験を有する方から点検及び評価に関する意見や助言を次の5人の方からいただきました。

- 岩 部 明 氏 (当別町社会教育委員会委員長)  
高 橋 千枝子 氏 (当別町社会教育委員会副委員長)  
鈴 木 信 行 氏 (当別町 PTA 連合会会長)  
菊 地 秀 夫 氏 (当別町校長会会長)  
橋 詰 典 明 氏 (当別町教頭会会長)

### 1 学校教育の推進

#### (1) 確かな学力の向上について

- 1 学力・学習状況等の調査に基づく実態把握、分析、改善方策を明らかにした学校改善プランの実施・改善

引き続き、全国学力・学習状況調査結果と標準学力調査結果の分析を反映した学校改善プランを作成し、家庭学習の推進を含めて、学力向上及び学習環境づくりの継続をお願いします。

「親塾」の開催など学力向上の基盤となる生活習慣の定着など啓発を行っていることは、大いに評価できる。

学力向上に各学校が組織的・計画的に取り組むために、校務分掌内でどのように役割分担して推進するか、一層明確にすることが必要である。

- 2 学ぶ意義や目的を理解させて学習意欲を高め、基礎学力を習得する学習の推進

得意・不得意等、目で見える学力を把握し、外部人材を活用して子どもたち一人一人へ気配りのある教育をより充実して欲しい。

基礎学力を習得するという点では、チャレンジテストや朝自習・朝読書を継続するとともに、学ぶ意義や目的を理解させる学習の工夫も大切である。

### 3 言語活動を重視した学習、体験的・問題解決的・探究的な学習の充実

考え、話し合いそれを言葉で表現する言語活動のさらなる実践を充実させて欲しい。  
言語活動の基は、国語が大事と考えられるのでよりわかりやすい授業をお願いする。  
言語活動の重要性に着目した研究や実践が進み、授業で培った個人や集団の言語能力を発揮する機会の働きかけが大切である。

「当別町家庭教育の手引き」に子どもの話にしっかりと耳を傾けることなど、家族の会話の大切さを位置付けることが大切である。

### 4 語彙を増やし読解力を高める読書活動の充実

たくさんの本との出会いによって、読書の楽しみが増し、新しい言葉の発見で知識が高まることを踏まえて、読書の大切さを伝える学習を進め、読書のできる環境づくりの配慮をこれまで以上をお願いする。

朝読書により読んだ内容や、感じた簡単な感想等を表現する機会を設けて欲しい。

語彙を増やすための、国語辞典の活用や保護者を巻き込んだ読書活動を働きかけることが必要である。

### 5 家庭学習の習慣化や生活習慣の定着に向けた取組の充実

「当別町家庭教育の手引き」を各家庭に配布し、学校と家庭が一体となった学習化や生活習慣の定着における取組の成果は高く評価する。今後も「当別町家庭教育の手引き」の活用の仕方を工夫し成果を上げていく必要がある。

家庭学習や生活習慣の定着化には、継続的な取組が必要であり、小・中連携や、学校と保護者との連携が図られるよう相互交流の機会を設けることも大切である。

### 6 小学校の英語活動への対応として英語指導助手の指導時間数の拡充

英語指導助手の指導により英語に慣れ親しむ授業となっており、指導助手の指導時間数を増やして欲しい。

小学校の授業を中学校の英語教諭が参観したり、中学校教諭が出前授業をしたりするなどの連携ができるとさらに効果的だと思う。

### 7 巡回指導教員等加配教員、大学生、学校支援地域本部事業の地域人材や学校教育指導員などの活用による学校支援の充実

学校教育指導員、大学生の協力、学校支援地域本部との連携により児童生徒は授業に積極的に参加できる環境にあるなど成果を上げていることから、多くの人材を活用する取組の充実をさらに図って欲しい。

## 8 放課後・長期休業中を利用した個に応じた指導の充実

学校支援ボランティアや学生ボランティアの協力で、きめ細かな指導が実施され、確実に効果を上げているので継続して欲しい。

小学校でこの活動が定着した際には、中学校でも必要感が高まる可能性もあるので対応していく必要がある。

## 9 幼稚園・保育所・小・中学校との連携充実

各校種間の円滑な進級・進学や学習内容などの理解を深めることは極めて大切なことであり、担当者の対応や情報交換、訪問などの連携を一層進めることが必要である。

### (2) 豊かな心の育成と健康・体力の向上について

#### 1 中一ギャップ問題未然防止事業や小・中学校連携の取組、児童生徒の悩みに応えるための計画的・継続的な実態把握と指導

保護者を加えた連携も工夫し、小・中学校9年間を見通した連携の取組を一層充実する必要がある。

#### 2 学校教育指導員と少年指導センター指導員との連携による教育相談の推進

関係機関と学校、教育委員会との連携により、教育相談を希望する保護者が増え子どもに良い影響を与えている。より一層、子どもたちの変化を見逃さないように気配りをお願いする。

#### 3 保護者との協力による規律ある生活習慣の確立

「当別町家庭教育の手引き」のやさしい説明と解説で効果を上げているが、一層家庭での理解を深め保護者の協力を引き出す必要がある。

今後も家庭でのTV・DVDの視聴時間の改善等の働きかけを行う必要がある。

#### 4 自然体験活動、ボランティア活動、キャリア教育等、地域資源を活用し道徳の時間や教科等との関連を図った体験活動や進路指導の推進

体験活動から得たものは、自己形成にとってかけがえのない収穫になっているので、今後も続けて欲しい。また、各職場の理解協力に感謝する。

中学生にとっては、ボランティア活動が地元・地域のために何か役に立つという志をもっての活動となることを望む。



5 豊かな感性を育てる読書活動や図書環境の整備

朝の一斉読書や読み聞かせの時間設定、子どもたちの発達段階に相応する図書の購入整備など大変効果を上げているので、今後も図書環境や中学校を含めての読書活動の充実に努めて欲しい。

地域の読書サークルの協力を感謝する。

6 食育指導の充実と地産地消のための学校給食における地場産食材を活用

食育だより、農業体験等を通して、正しい食事の在り方や望ましい食習慣を身に付けさせる指導は大切なことであり、農家の協力を得て今後も継続をお願いする。

地域の食材を活用した給食を進めているので、栄養教諭等との連携により、その意味や地域で生産される物の理解を深めて欲しい。また、給食センターから「今日の給食のセールスポイント」等を子どもたちに伝える工夫をして欲しい。

7 体力、運動能力向上の調査結果を踏まえた取組の推進

体育の授業等で基礎体力の向上に努めて欲しい。

中学校では、運動部以外の生徒の体力向上を図る取組も必要である。

8 フッ化物洗口や子宮頸がんの学習を通じた健康に対する意識や態度の育成

フッ化物洗口は虫歯予防になるとされているので、対象児童の拡大が望まれる。

子宮頸がん予防の働きかけに関しては、町福祉部の方々と連携して、PTAへの呼びかけや授業の実施など精力的に活動をしていることは大変ありがたい。

(3) 開かれた学校の推進と教育活動の改善について

1 学校評価や学校評議員、学校関係者評価の活用と学校だより、ホームページ等による情報提供を通じたマネジメントサイクルの組織的な取組

学校関係者評価委員による評価を学校だよりやホームページなどで公表し成果を上げているが、情報をコンパクトにしてわかりやすく提供したり、学校公開日を工夫したりするなど、より学校・家庭・地域の連携が図れるようにして欲しい。

2 大学生や地域の人材、教材、基幹産業である農業を活かした教育活動の推進

学校支援地域本部事業のボランティア、地域の人材や大学生の好意を学校のニーズに合わせて活かして欲しい。なお、農家の協力を得て農業を活かした活動を工夫し、知恵を身に付け、地域のことを知る教育活動を進めて欲しい。

当別町の農業の素晴らしさをPRする工夫が必要である。

3 特別支援教育における実践交流や特別支援学校など関係機関からの支援・連携体制の充実

指導体制確立や財政面で難しさもあるだろうが、特別な支援を必要とする児童生徒や保護者に対し、気配りのある教育や支援・連携体制の充実を引き続き願います。

特別支援教育の意義や校内外の連携の進め方など、研修を行ったことにより共通理解が進み、関係機関との連携が大変スムーズになってきている。

(4) 教育環境・施設整備の充実について

1 地域防犯連合会や関係機関・団体との情報共有や一体的活動などによる安全・安心の取組の推進

保護者に、一斉メールの配信に向け理解を求め、情報の早期伝達を進めて欲しい。

地域防犯連合会での情報交流は学校にとって貴重な情報があり、問題の未然防止に意義があるので継続して欲しい。

2 学校耐震診断結果を踏まえた当別小学校の体育館工事の実施

当別小学校体育館完成後も、校舎の点検等を定期的に行い安全な環境を維持して欲しい。

3 スクールバスの安全運行と地域町民の交通手段補完のための一般混乗試験運行の継続実施

スクールバスの駐車場も含め、子どもたちの安全を第一に考えた運行をお願いします。より実態に合った効果的運用がなされるよう検討して欲しい。

## 2 社会教育の推進

### (1) 家庭や地域の教育力の向上について

- 1 絵本を通しての「心のふれあい推進事業」や地域子育てサークルと連携した「地域子育て活性化事業」などの実施

ブックスタートは、効果的な事業である。読み聞かせのボランティアの方々の協力は大変ありがたい。

「父親を対象とした子育て講座」は素晴らしい事業である。

子育ての楽しさをアピールするような工夫をして欲しい。

- 2 「学校支援地域本部事業」における地域人材の発掘・活用による支援体制の充実

事業の内容を「アシスト通信」でていねいに紹介発信して大変好評である。また、コーディネーターの指導力が大きい。

地域の方々に協力を求め、地域一丸となった子どもたちの教育のために参加を呼びかけて欲しい。

より多くの人材発掘の取組は大変ありがたい。

- 3 規律ある生活、基本的な生活習慣の確立のための、関係機関との連携強化による「早寝早起き朝ごはん」運動の取組

基本的な生活習慣の確立には、幼児期からが最も大切で、「当別町家庭教育の手引き」の活用を工夫し、生活のリズムである「早寝早起き朝ごはん」運動の良さを家庭と学校関係機関と連携して啓発活動の継続をして欲しい。

### (2) 青少年教育の推進について

- 1 少年指導センターにおける機動的な対応や、指導機関、関係機関との情報共有や連携強化による町内巡回指導の充実

町内巡回を続け、子どもたちの非行・犯罪の未然防止を図り、地域全体の安全環境づくりに努めて欲しい。

各種情報の即時提供により早期対応の足がかりとなっているが、特に不審者情報の即時提供をお願いします。

- 2 インターネット上の被害及び加害防止のためのネット巡回の強化

インターネットのトラブル防止のため、早期発見と即時対応ができるように関係機関との連携強化を図って欲しい。

### 3 子どもの自立性、協調性を育てる「通学合宿事業」の継続実施

子どもたちは、合宿を通じて確実に成長しているが、その後の実生活で活かされているかどうか検証して欲しい。

世話役として中学生が参加することは、生徒に思いやりの心を培うなど大変有意義な活動であると思うが、今後一層合宿する児童の役にたつ事業となるよう工夫をして欲しい。

実施時期は、学校などのスケジュールと調整を図って行って欲しい。

### 4 ジュニアリーダーや子ども会リーダー育成事業及び多くの子どもが参加できる子ども会事業の工夫

町内諸行事でのジュニアリーダーの活躍は実に立派であり、引き続きリーダー養成の継続をお願いする。

子ども会事業に多くの子どもたちが参加できるよう工夫する必要がある。

### 5 「少年の意見発表会」の実施

貴重な事業なので地域のお年寄りや団体などに声をかけて、もっとたくさんの町民に聴いていただけるよう企画して欲しい。

より一層の活性化を目指した意義深い発表会にして欲しい。

## (3) 成人教育の推進について

### 1 町民が興味を持って参加できる「町民自主企画講座」や道医療大学連携セミナー「当別学講座」、「ことぶき大学」の開催実施

それぞれの講座に意義があり、参加者の様子から良い取組となっている。

町民へのアピールを広めながら、充実した企画を考えて欲しい。

### 2 地域人材を活用した出前講座である「とうべつ知恵袋」の開催、人材バンク登録の拡大

技能や知識をもつ地域の人材を活用できるよう、さらなる登録者の拡充を望む。

町民が、年に1回は一つの講座を受講する運動を進めて欲しい。

## (4) 文化・芸術活動の推進について

### 1 社会教育施設における文化関係の展示場所の整備及び関係団体と連携した自主的・創造的な芸術文化活動の推進

文化協会の活躍により、文化祭の来場者は年々増加しており、文化芸術活動の振興に結びついている。

参加したいと思うような町民のための文化祭にして欲しい。

2 「子どもの読書活動推進計画」に基づいた関係機関やサークルなどと連携した取組の推進

当別町学習交流センター及び西当別コミュニティーセンターの活用、当別子ども図書館など関係機関やサークルの連携をさらにお願ひする。

読書ボランティアの方々の協力で、子どもたちにとって本が身近になっている。

3 読書週間の設定や絵本の読み聞かせ事業の実施、図書情報の提供など、図書室蔵書貸出しの向上に向けた活動と学習交流センターの利用促進

家庭での読書を推進するためには保護者に啓発することが大切である。

本との出会いのエピソードや読んだ本について交流できる場づくりの工夫をして欲しい。

図書室の開館時間を検討して欲しい。

4 歴史ボランティアの活動支援による歴史関係事業の推進

町の歴史について、町内はもとより町外からの問いにも適切に対応されている実績があり、今後一層の活動の充実を期待する。

(5) スポーツ活動の振興について

1 町民のニーズ・興味に応じたスポーツの紹介事業の取組

既成のスポーツに加え、ニュースポーツの紹介・体験の企画を提供し支援することにより、多くの参加者を得て大変好評であるので、継続をお願いする。

コーディネーショントレーニングを学校にも取り入れて欲しい。

2 子どもの体力・運動能力の向上及び多世代が多種目のスポーツに親しむことを目的とした「総合型地域スポーツクラブ」の運営支援

多様なメニューがあり工夫されている。また、指導体制が充実し、参加者に喜ばれているので、今後も継続して欲しい。

3 健康増進や運動習慣定着のための「フィットネスカレッジ」の実施

幅広い年齢層の方々が明るく楽しいそうに参加していることから、今後もより充実・発展することを望む。



< 資 料 >





# 1 教育委員会委員名簿

(平成23年度在籍)

職 名	氏 名	任 期	委員就任年月日
委 員 長	大 澤 勉	H 20.10. 1 ～ H 24. 9.30	S 63.10. 1
委員長職務代理者	白 井 応 隆	H 20.10.20 ～ H 24.10.19	H 12.10.20
委 員	大 東 映 子	H 19.12.15 ～ H 23.12.14	H 19.12.15
委 員	武 岡 和 廣	H 22.10. 1 ～ H 26. 9.30	H 22.10. 1
委 員	寺 田 郷 子	H 23.12.15 ～ H 27.12.14	H 23.12.15
教 育 長	山 内 秀 治	H 21.10. 1 ～ H 25. 9.30	H 21.10. 1

## 2 平成23年度 教育行政執行方針

### I はじめに

平成23年第1回当別町議会定例会の開会にあたり、当別町教育行政の執行に関する所信を申し上げます。

今日、知識基盤社会化や国際化が進展する社会状況や教育を取り巻く環境が大きく変化している中、子どもたちに、未来を切り拓き心豊かにたくましく生きる力をはぐくむために、確かな学力と豊かな心、健やかな体を身に付ける学校力はもとより家庭、地域の教育力向上や、高齢化社会にあって人々が生きがいを持ち、学び、活動し相互に支え合える環境づくりなど、様々な教育課題が山積しております。

こうした中、当別町における教育行政を進めるにあたり、「心にふるさとを刻む教育」を基本姿勢として、5年計画の3年目を迎える「第3次当別町生涯学習推進計画」に基づき、当別の教育資源との積極的ななかかわり合いや、町民の主体的な学びや活動、ふれ合いや相互の啓発、ネットワークの中から生まれる知恵や工夫を活かして、活力と潤いのある人づくりやまちづくりに努めて参ります。

### II 教育行政を執行するにあたっての基本的な考え方

このような基本姿勢のもと、教育に関わる諸課題と教育改革の方向性を明確にしつつ、教育委員会や学校教育の点検・評価により業務の活性化を一層図り、積極的な情報提供による情報共有を基盤として家庭、学校、地域社会の連携や融合を深めながら、課題解決に向けた取組を進めて参ります。

また、教育関係法規や学習指導要領の改正の趣旨を生かした取組や条件整備の一層の充実と、厳しい財政状況の中、無駄のない行政執行を心がけ、安全・安心な施設・設備等の整備に努めて参ります。

さらに、地域の豊かな教育資源と町民の方々の創意・活力を活かす教育活動や、各種団体の文化・スポーツ活動の推進に努めて参ります。

### III 重点施策

次に、平成23年度における主要な施策について申し上げます。

#### 1 学校教育の推進

学校教育においては、規範意識や思いやりの心、自尊感情や生命尊重の心、社会性などの豊かな心とそれに根ざす確かな学力や健やかな体などの「生きる力」を身に付けながら、当別で学び・心や体をはぐくむ充足感を持たせ、「ふるさと当別」を心に刻む教育を推進する学校経営や教育活動の工夫・改善、条件整備などを充実することが大切です。

そのため、学校評価・情報提供体制の確立や、校種間連携、学社連携・融合、地域人材の活用など、地域の素材・特性を活かす教育活動の工夫と、学校における相談・支援体制の充実、安全・安心な教育環境の整備等を図り、保護者や地域との信頼・協力に基づく開かれた学校の推進に努めて参ります。

また、小学校は今年度から、中学校は24年度から全面実施となる新学習指導要領の着実な実施に向

けた教育課程の編成・実施・評価・改善の取組を支援して参ります。

さらに、学力・体力向上、豊かな心の育成が大切なことから、学校における校内研修の充実はもとより、当別町学校教育研究推進協議会との連携による学校指定研究事業と長期休業中の研修機会の充実を図り教職員の資質・能力の向上に努めます。

### **（確かな学力の向上について）**

基礎的・基本的な知識・技能と、考え・判断・表現する能力や応用・探究能力、主体的な学習態度など、生き方を高める確かな学力向上の指導の充実や条件整備を図ることが大切です。

そのために、学力・学習状況等についての調査に基づき、実態や分析結果、改善方策を明らかにした学校改善プランの実施・改善を図り、取組を充実していくよう学校を支援して参ります。

特に、児童生徒に学ぶ意義や目的を理解させて学習意欲を高め、基礎学力を習得する学習や、それを活用して思考・判断・表現力等を高める言語活動を重視した学習、体験的・問題解決的・探究的な学習、及び語彙を増やし読解力を高める読書活動は大切であり、その充実を図るよう学校を支援して参ります。

また、家庭学習の習慣化や生活習慣の定着については学校の取組を充実することはもとより社会教育と連携しての取組なども工夫し、支援して参ります。

さらに、道教委指定の「巡回指導教員活用事業」の推進や加配教員、大学生、学校支援地域本部事業の地域人材、学校教育指導員の活用、放課後・長期休業中を利用しての個に応じた指導、及び幼稚園・保育所・小・中学校間の連携など、学校・地域の特性を活かした取組の支援に努めて参ります。

小学校の英語活動については、5・6年生で必修となることから、英語指導助手の指導時数の増加や、教職員の指導力の向上を図る取組を進めて参ります。

### **（豊かな心の育成と健康・体力の向上について）**

自他の人格や物・生命を尊重する心、ルール、モラルを大切にできる態度などの豊かな心の育成や、健康づくり、体力向上等の指導の充実や条件整備を図ることが大切です。

そのために、保護者との協力による規律ある生活習慣の確立や、問題意識、役割意識、行動力を育てる自然体験活動、ボランティア活動、キャリア教育等、地域の資源を活用した体験活動や自己の生き方を高める道徳の時間や進路指導の取組が充実するよう支援して参ります。

また、昨年度指定された「中1ギャップ問題未然防止事業」や小・中学校連携の取組、児童生徒の悩みに応えるための計画的・継続的な実態把握と指導や、学校教育指導員と少年指導センター指導員との連携による教育相談など、生徒指導の充実を図り、好ましい人間関係を確立し、いじめ、不登校や問題行動の防止に努めて参ります。

さらに、知識を広げ、感性を豊かにし、自他の心や生き方を見つめ深めながら、心豊かに生きていく力を身に付ける読書活動や図書環境の整備などに努めて参ります。

健康・体力づくり等については、「食育」を通して、食の安全や健康づくりの指導の充実や、地産地消を進める学校給食における地場産食材の活用に努めて参ります。

また、昨年度、全小学校の1年生から開始したフッ化物洗口の取組や中学校における子宮頸がんの学習などを通して、健康に対する意識や態度の育成を、また、調査等による実態把握に基づき、体力・運

動能力向上の取組を充実していくよう支援して参ります。

#### **(開かれた学校の推進と教育活動の改善について)**

学校が保護者や地域と密接に連携し、学校経営や教育活動の成果・課題を確認し改善に努め、地域の教育資源を活用し充実した教育活動を展開するため、開かれた学校を推進することが大切です。

そのため、学校評価や学校評議員、学校関係者評価の活用と学校だより、ホームページ等による情報提供を通して、計画・実施・評価・改善のマネジメントサイクルが組織的に機能し学校経営や教育活動が充実するよう支援して参ります。

また、大学生や地域の人材・教材、及び基幹産業である農業等を活かした教育活動を進め指導の成果を確かなものにしたたり、地域への関心や愛着を高め、課題解決力を身に付けたりする学習活動を充実するよう支援して参ります。

さらに、特別支援教育においては、指導計画・方法・内容の実践交流や、特別支援学校等、関係機関からの支援・連携体制の充実を図って参ります。

#### **(教育環境・教育施設の充実について)**

児童生徒が、学校に安心して通学し、学べる教育環境・施設の充実を図ることが大切です。

そのため、校内での安全指導はもとより、地域防犯連合会や関係機関・団体との情報共有や一体となった活動などによる安全・安心の取組を推進して参ります。

また、学校耐震診断結果を踏まえて、当別小学校の体育館建替工事に取り組んで参ります。

さらに、スクールバス運行につきましては、安全運行を図り、運行地区における地域住民の交通手段を補完するため、引き続き一般混乗を試験的に実施して参ります。

## **2 社会教育の推進**

今日の成熟した社会において、人が人として心豊かに生きていくために、町民一人一人が生涯にわたって自ら学習機会を選択し主体的に学び続けることができる環境づくりや、青少年の健全な成長のために、家庭や地域の教育力の向上を図り、「ふるさと当別」を心に刻む教育活動を推進することが課題です。

そのため、町民の皆様には知恵・汗・心の発揮をいただき、学校・家庭・地域の連携に基づき、家庭や地域の教育力向上に向けた取組や、社会教育関係団体の支援による地域活動や、社会教育施設・地域人材・環境等の教育資源を活用した社会教育事業を推進して参ります。

#### **(家庭や地域の教育力の向上について)**

少子化や核家族化、人間関係の希薄化が進む中、子育てに関する学習が進められる環境の整備や基本的な生活習慣確立への意識化を図ることが大切です。

そのため、ブックスタートをはじめとする絵本を通しての「心のふれあい推進事業」や「子育てを考えるつどい」、地域子育てサークルと連携した「地域子育て活性化事業」などを進めて参ります。

また、「学校支援地域本部事業」において、児童生徒の学習や学校の環境整備等を支援する地域人材の発掘や活用の充実を図って参ります。

さらに、規律ある生活、基本的な生活習慣の確立のため、関係機関・団体との連携強化による「早寝・早起き・朝ごはん」運動の取組を進めて参ります。

#### **（青少年教育の推進について）**

近年、社会への不適応や問題行動に走る青少年への対応、子どもたちが被害を受ける社会環境が問題となっていることなどから、青少年の健全育成の取組や安全な環境づくりを進めることが大切です。

そのため、青少年の問題行動防止のため、少年指導センターにおける機動的な対応や、指導機関、関係機関との情報共有、連携強化による町内巡回指導の充実、及びインターネット上の被害・加害防止のため、ネット巡回を強化して参ります。

また、子どもの自立性、協調性などを育てる「通学合宿事業」を充実するほか、ジュニアリーダーや子ども会リーダー育成事業、及び多くの子どもが参加できる子ども会事業の工夫を図って参ります。

さらに、子どもが自分や学校生活、社会等に目を向け、その在り方を考え、表現することを通して、広い視野を持ち、たくましく生きる力を身に付ける「少年の意見発表会」を実施して参ります。

#### **（成人教育の推進について）**

いつでも自由に学習機会を選択し、生きがいや充足感を持って日常生活を送ることができるよう、幅広い学習機会を提供することが大切です。

そのため、町民が興味を持って参加できる「町民自主企画講座」や北海道医療大学連携セミナー「当別学講座」、「ことぶき大学」を開催して参ります。

また、地域人材を活用した出前講座である「とうべつ知恵袋」の開催増加のための働きかけや、人材バンク登録の拡大を図って参ります。

#### **（文化・芸術活動の推進について）**

潤いのある創造性豊かなまちづくりを進めるため、文化・芸術活動の充実を図ることが大切です。

そのため、社会教育施設における文化関係の展示場所の整備・活用の工夫や、関係団体と連携した自主的・創造的な芸術文化活動の推進、活動の継続・充実を図って参ります。

また、子どもの読書活動推進計画に基づき、関係機関やサークルなどと連携した取組を推進し、読書週間の設定や絵本の読み聞かせ事業の実施、図書情報の提供など、読書活動の充実とともに図書室蔵書貸出しの向上に向けた活動と学習交流センターの利用促進を図って参ります。

さらに、歴史ボランティアの活動支援による歴史関係事業の推進を図って参ります。

#### **（スポーツ活動の振興について）**

誰もがスポーツに親しみ、体力づくりや健康増進を図り、生き生きとした生活を送れるよう、子どもから高齢者まで多様なスポーツに取り組める条件整備が大切です。

そのため、町民のニーズ・興味に応じたスポーツの紹介事業の取組や、子どもの体力・運動能力の向上及び子どもから高齢者まで多種目のスポーツに親しむことを目的とした「総合型地域スポーツクラブ」の支援・連携を図って参ります。

また、健康増進や運動習慣定着の支援を図るため、健康運動指導士の指導による「フィットネスカレ

ッジ」を実施して参ります。

#### IV むすび

以上、平成23年度の教育行政の主要な内容について申し上げます。

昨年「当別町140年記念事業」には、子どもたちや住民の皆さんが積極的に関わってくださり大きな成果をあげました。

141年目からの活力に満ちた美しいまちづくりに、子どもたちや住民がこれからも自ら参画し、140年記念事業であげた成果を継続・発展させながら、この町に住んでよかった、この町は私のふるさと思えるよう充実した教育行政の推進に努めて参りますので、町民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力をお願いいたします。

### 3 平成23年度教育予算及び決算状況

総務費（教育委員会関係分）

（単位：円）

項	目	予 算		現 額 繰越事業費額	支 出 済 額	翌年度繰越額 〔繰越明許費〕	不 要 額
		予 算 額	繰 越 額				
1 総務管理費	14 きめ細やかな交付金 事業費	0	38,989,000		38,094,000	0	895,000
	15 住民生活に光をそそ ぐ交付金事業費	0	19,225,000		19,007,886	0	217,114
	小 計	0	58,214,000		57,101,886	0	1,112,114

教育費

（単位：円）

項	目	予 算		現 額 繰越事業費額	支 出 済 額	翌年度繰越額 〔繰越明許費〕	不 要 額
		予 算 額	繰 越 額				
1 教育総務費	1 教育委員会費	1,898,000			1,851,249		46,751
	2 事務局費	4,160,000			4,111,321		48,679
	3 教育振興費	21,754,000			21,333,633		420,367
	4 スクールバス運営費	37,345,000			37,215,015		129,985
	5 学校給食費	65,949,000			65,396,970		552,030
	6 施設費	9,583,000			9,211,531		371,469
	小 計	140,689,000			139,119,719		1,569,281
2 小学校費	1 学校管理費	40,591,000			38,003,389		2,587,611
	2 教育振興費	31,331,000			30,403,861		927,139
	3 施設費	5,111,000	339,679,000	339,679,000	302,898,817		41,891,183
	小 計	77,033,000	339,679,000	339,679,000	371,306,067		45,405,933
3 中学校費	1 学校管理費	41,202,000			40,083,737		1,118,263
	2 教育振興費	21,313,000			20,894,052		418,948
	3 施設費	4,560,000			4,503,300		56,700
	小 計	67,075,000			65,481,089		1,593,911
4 幼稚園費	1 教育振興費	21,767,000			20,478,200		1,288,800
	2 施設費	6,773,000			6,279,000		494,000
	小 計	28,540,000			26,757,200		1,782,800
5 社会教育費	1 社会教育総務費	5,496,000			5,223,985		272,015
	2 社会教育施設費	35,951,000			35,869,242		81,758
	3 文化財保護費	2,606,000			2,567,178		38,822
	4 指導センター費	4,464,000			4,342,290		121,710
	5 青少年費	928,000			926,520		1,480
	小 計	49,445,000			48,929,215		515,785
6 保健体育費	1 保健体育総務費	3,622,000			3,430,076		191,924
	2 プール運営費	8,827,000			8,673,916		153,084
	3 総合体育館費	19,253,000			18,995,333		257,667
	小 計	31,702,000			31,099,325		602,675
教 育 費 合 計		394,484,000	339,679,000	339,679,000	682,692,615	0	51,470,385

